

関東甲信越地区 国立大学法人等

仕事紹介ガイドブック

2026



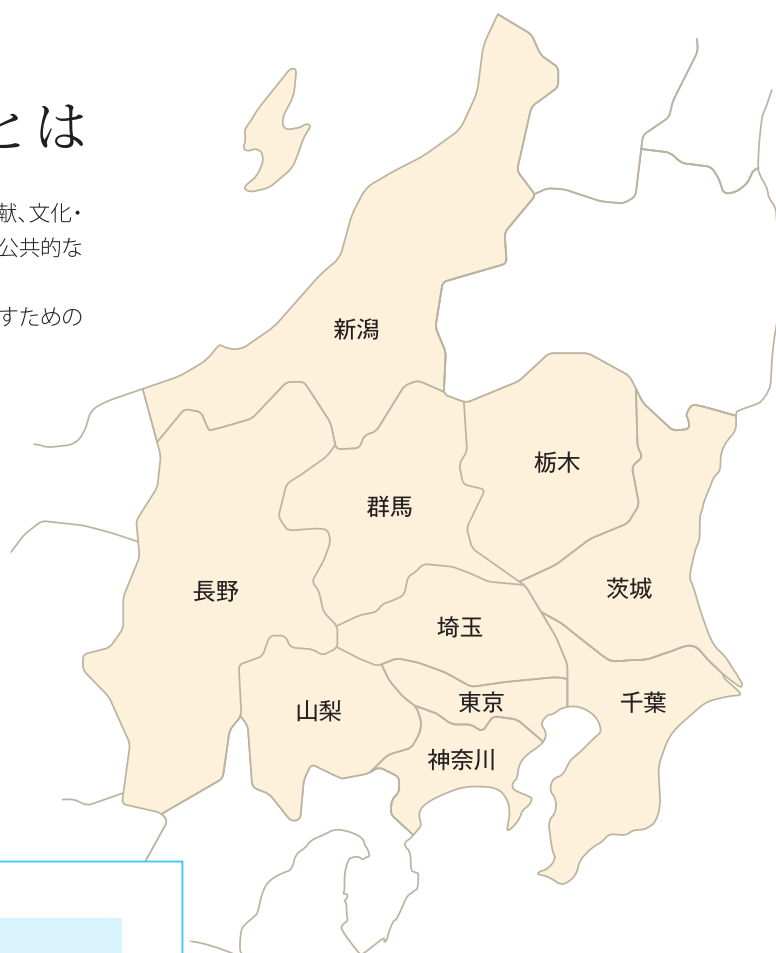
CONTENTS

- P 2 国立大学法人等とは
- P 6 私たちのフィールド
- P20 私たちのキャリア形成
- P24 私たちのワーク・ライフ・バランス
- P26 関東甲信越地区64機関紹介
- P38 採用試験のプロセス
- P39 勤務条件・福利厚生

国立大学法人等とは

国立大学法人等は、教育、研究、地域貢献・国際貢献、文化・芸術振興を通じて、社会の発展に寄与するという公共的な役割を担っています。

各機関は個性と特色を発揮し、社会的使命を果たすための取り組みを行っています。



国立大学法人

各国立大学は独立した法人格をもつ「国立大学法人」となりました。国が財政的に責任を持ちながら、自主・自律という大学の特性を活かした運営ができる新しいスタイルです。学術研究の一層の活性化はもとより、教育機能の強化や学生サービスの改善、あるいは、産学連携や地域貢献活動の充実などについて、それぞれの理念をより良く実現できるよう、自主性・自律性を生かした積極的な運営に取り組んでいます。

独立行政法人

国が直接行っていた公共的な事務・事業について、計画的・効率的な運営を行うことで、より良い行政サービスを提供しています。

独立行政法人

国立高等専門学校機構

国立高等専門学校（高専）は、社会が必要とする実践的技術者を養成するため、中学校卒業生を受け入れ、5年間の一貫教育を行う高等教育機関として、全国に51校、設置されています。それぞれの高専が、自主・自律的に改革に取り組み、社会経済環境の変化に積極的に対応するとともに、高専機構という1つの法人として、スケールメリットを活かした戦略的・効率的な運営を行っています。

大学共同利用機関法人

大学共同利用機関は、法人化を契機に4つの機構に再編されました。各機構が設置した我が国を代表する中核的研究拠点である大学共同利用機関は、全国の大学の関連研究者のニーズに応え、海外の研究者とも連携を図りながら、最先端の研究領域において大型の実験観測施設・装置を開発し、貴重な学術情報・資料を集積し、これらの共同利用により効果的・先端的な共同研究を推進し、大学院教育や高度な研究者の育成に取り組んでいます。

特別な学校法人

法律に基づく特別な学校法人である放送大学学園が設置する大学です。

国立大学法人等のミッション

our mission

教 育

高度な専門教育と多彩な
教養教育を通じて、
次世代を担い、
多様な分野で活躍する
人材を育成します。

研 究

基礎的・基盤的研究から
独創的な応用研究まで、
各機関の強みや特性を
生かした研究を行い、
人類の発展を支えます。

地域貢献・国際貢献

地域の医療機関、
自治体、国内外の
教育研究機関と連携し、
地域振興や国際貢献活動の
中核的機能を果たします。

文化・芸術振興

貴重な芸術作品や
標本資料等の収集、保管、展示、
調査研究を行うことにより、
先人たちの残した貴重な
財産を将来世代に伝えます。

私たちの仕事

時間と空間を越えた貢献をします。

教育・研究機関の活動には、今すぐ役立つものはもちろんのこと、将来の社会を考えて行われている
基礎的なものも多くあります。

また、そこで働くことは教育・研究そのものだけではなく、教育・研究をする人、広く社会の人々の生
活・地域・時代すべてに対する貢献です。

私たち職員は、変化する社会を広く見つめ、自ら考え、向上心を持って、大学運営のスペシャリスト
として、社会のニーズに合った教育、研究、組織運営を行っていきます。未来へ向け、職員として活躍
できる場は無限大です。

教育・研究活動を推進する

- 学生の入学から卒業までをサポートします。学生がよりよいキャンパスライフを送るための支援を行います。
- 大学や機関の研究推進のための環境を整備します。基礎的・基盤的研究から独創的な応用研究まで、見えない部分で支援をします。

社会に貢献する

- 教育・研究活動を社会に発信したり、その成果や知的財産を社会に還元することで、社会を変えるイノベーションの創出に
貢献します。
- 地域の医療機関、自治体、国内外の教育研究機関と連携し、地域振興、国際貢献活動の中核的役割を果たします。

機関を経営する

- 機関の理念や目標の実現に向けて「ヒト、モノ、カネ」の面から貢献します。
- 機関の経営戦略を企画し、その戦略を実行するための調整や役員の業務支援を行います。
- 情報システムや大学施設など機関の教育研究を支えるインフラづくりに貢献します。

業務内容

business content

各機関では、企画や運営に関わる仕事、学生や研究を支援する仕事、専門知識を活かす仕事など、人事異動により幅広い業務を経験し、多彩なフィールドで活躍することができます。あなたの活躍するフィールドはどれでしょう？

※なお、上記の業務内容は、国立大学等の代表的なものであり、機関の設置目的や規模、事業内容等により異なります。

事務

学生支援

学生の入学から卒業までを学業面、生活面から支援します。



- ▶ 学籍管理、修学指導、成績データの処理
- ▶ 奨学金、授業料免除、学生の健康管理、生活指導
- ▶ 就職サポート
- ▶ 大学入学共通テスト・個別学力試験の実施

→ P6

事務

広報・社会連携

機関の教育研究活動の内容やその成果を社会に発信する役割を担います。



- ▶ 広報活動の企画・立案・実施
- ▶ 情報公開に関する業務
- ▶ 地域貢献活動（公開講座、出前授業等）の企画・実施

→ P10
P11

事務

企画・評価

機関を発展させるための企画・立案を担います。



- ▶ 将来計画、大学改革
- ▶ 中期目標、中期計画、年度計画
- ▶ 大学経営の企画・評価（外部評価、自己点検評価）
- ▶ 業務改善推進

→ P9

図書

図書

教育・研究のための学術情報の提供を行います。

※司書の資格は必要ありませんが、図書館学概論等の専門的知識が必要です。



- ▶ 図書の貸出・返却、利用案内
- ▶ 図書雑誌の購入・受入・分類・目録作成
- ▶ 他機関との相互利用に関する業務
- ▶ 利用者の情報リテラシー教育

→ P15

事務

財務

組織運営に必要な財務上の計画や管理を行います。



- ▶ 組織運営に必要な予算の要求・執行
- ▶ 各種物品の契約・購入・管理
- ▶ 授業料・検定料・入学金等の収入金の出納

→ P14

事務

研究支援

研究の助成、産学官連携の推進を支援します。



- ▶ 受託研究・民間との共同研究等の外部資金受入
- ▶ 知的財産の管理
- ▶ 寄附講座・寄附研究部門の設置・運営
- ▶ 地域研究拠点の運営・推進

→P7

事務

国際交流

海外との学術交流・学生交流の推進を支援します。



- ▶ 海外の大学・研究機関等との学術交流事業
- ▶ 外国人研究員等の受入、教職員の海外派遣
- ▶ 留学生の受入、学生の留学支援
- ▶ 地域社会と留学生の交流事業

→P8

事務

医療支援

高度先進医療を担う附属病院の管理運営業務を行います。



- ▶ 外来患者の受付、入退院の手続、医療情報の管理
- ▶ 診察・入院料金の計算・収納
- ▶ 地域連携医療、災害医療支援、病院再開発計画の策定
- ▶ 病院経営にかかる情報の収集・分析

→P12

事務

総務・人事

事務全般を総括し、機関や教職員を支えるための幅広い業務を行います。



- ▶ 教授会・評議会等の会議運営
- ▶ 入学式・卒業式等の式典運営
- ▶ 規則の制定・改廃
- ▶ 教職員の採用・昇任・異動・給与・研修・福利厚生

→P13

技術

施設系

キャンパス内の多種多様な施設に関する計画、施工から保全等の業務を行います。



- ▶ 新築・耐震改修等の計画・調査・設計・積算・検査
- ▶ 工事の発注、工事現場監理
- ▶ 省エネルギー対策の策定
- ▶ キャンパスマスタープラン作成

→P16

技術

教育・研究支援系

専門知識を活かし、技術面から教育・研究活動を支援します。



- ▶ データ解析、計測・観測技術の開発、試料作製
- ▶ 学生の実験等の技術支援・助言
- ▶ 研究・実験機器等の設計・開発・維持・管理
- ▶ ネットワーク・システムの管理・運営

→P17

私たちのフィールド > 事務

学 | 生 | 支 | 援

相手の気持ちに 寄り添う

Q₁ 現在の仕事内容について

人文社会科学系の大学院係で、大学院生や教員のサポートをしています。時間割作成や修了判定、入試業務のほか、窓口・メールでの問い合わせ対応も行います。年間スケジュールに従った定例業務と、問い合わせ対応などの突発的業務を並行する機会が多いです。そのため、急な業務に対応できるように前倒しのスケジュール管理を心がけています。

Q₂ 仕事をしていて感じる魅力ややりがいについて

学生支援業務は4月から翌3月までの1年間で一巡します。配属1年目は業務の幅広さに戸惑いを感じることもありましたが、2年目に視野の広がりを実感できた時は達成感がありました。業務の効率化など、「引き算」の成果を実感した時に特にやりがいを感じます。

Q₃ 国立大学法人等職員を選んだ理由について

安定した勤務体系と柔軟な働き方に魅力を感じました。公務員と比較されることもありますが、転勤が少ない点で安心感があります。ジョブローテーションにより幅広い業務を経験することができ、事務職としての対応力を高められる点も魅力の一つです。



埼玉大学
学務部大学院人文社会科学研究科支援室大学院係員

令和2年度採用

平岡 海
ヒラオカ カイ

4～5月	新年度	新入生オリエンテーションや履修登録があり、窓口対応が最も多い時期です。
6～7月	募集要項作成	募集要項の作成のほか、各種調査への回答が増えます。比較的余裕がある時期のため、年度末の準備もしています。
8～9月	秋季修了判定 後期準備	9月に修了する学生の修了判定や夏の入試があります。10月入学者（主に留学生）の入学準備や、後期の授業準備も行います。
10月	新学期	後期の授業開始に伴い、履修登録など窓口対応が増えます。また、年度末に向けての最後の準備期間です。
11～2月	入試シーズン	大学入学共通テスト、修士課程入試、博士課程入試と立て続けに入試があります。在校生の論文提出も重なり、最も忙しい時期です。
3月	春季修了判定 次年度準備	大学院の修了判定と並行して、次年度入学者の入学準備も行います。人事異動の時期でもあるため、自分の部署異動が重なり大変です。

研 | 究 | 支 | 援

光るのは研究者、
支えるのが私たち

Q 1 現在の仕事内容について

現在、私は先生方の科研費、学内助成、学外助成に関する業務を担当しています。具体的には、申請書類のチェックや提出手続きのサポート、予算管理、報告書の作成補助などを行い、研究活動が円滑に進むよう支援しています。また、制度の説明や問い合わせ対応も行い、正確かつ迅速な業務遂行に努めています。

Q 2 仕事をしていて感じる魅力ややりがいについて

先生方が科研費や外部資金に応募されたり、実績報告書を作成されたりする際には、事務として提出前に内容を丁寧に確認しています。先生方が気づかなかったミスを発見しお伝えすることで、外部資金獲得の支援ができた実感、やりがいを感じています。

Q 3 職場の雰囲気について

大学の規模が比較的小さいため、職員一人ひとりの役割や責任が大きいです。係内や課全体で助け合いながら業務に取り組んでいます。子どもの急な病気などで休みをいただくこともありますが、周囲の理解があり大変助かっています。

宇都宮大学 社会共創・情報部社会共創・研究課研究協力係一般職員

平成28年度採用

長 茉衣子
チョウ マイコ

9:00	出 勤	育児時間休業を利用しているため、少し遅めに出勤しています。
	メール確認	すべての通知を確認し、必要なものから順に対応します。
9:30	事務処理	業務の優先順位を整理したうえで、作業に取りかかります。
12:00	昼休み	昼食は職員同士で会話を楽しみながら取り、附属農場の野菜や果物が販売される日には、気分転換に買い物へ行くこともあります。
13:00	事務処理	午後も午前に引き続き、業務に集中して取り組みます。
16:45	退 勤	残った業務は翌日に備えてToDoに記録し、育児時間休業により早めに退勤して子どものお迎えに向かいます。

誰かのために

Q₁ 現在の仕事内容について

学生の海外研修、短期留学生の受入プログラムの調整、在学する留学生の各種手続きに関する仕事をしています。海外研修プログラムでは、学生の派遣に係る書類整理のほか、引率する教員の派遣に係る書類作成等も行っています。その他、高専機構本部や外部団体からの国際交流プロジェクトの案内や、国際交流センターの運営といった仕事があります。

Q₂ 仕事をしていて感じる魅力ややりがいについて

職務上、さまざまな国の方と関わることがあります。私の語学力はとても乏しいのですが、英語でのコミュニケーションが取れた際は嬉しく思います。また普段、国際交流センターの先生や留学生を主にサポートする仕事が多いため、感謝の言葉をいただいた時にとてもやりがいを感じます。

Q₃ 職場の雰囲気について

学生課、国際交流センターに限らず仕事のしやすい雰囲気だと感じます。

わからないことは誰でも聞くことができますし、上司・同僚のサポートも手厚いので、あまり困ることなく仕事できています。学校行事では、教職員が一丸となって協力して業務を行っています。

長野工業高等専門学校 学生課国際交流支援係
係員

令和6年度採用

鴻巣 敏伸
コウノス トシノブ

8:30	出勤	メール、予定の確認
	窓口対応	留学生や海外研修プログラムに参加する学生の対応を行います。
12:50	昼食	学生の昼休み中の対応のため、少し遅めの昼休憩。午後の業務にそなえ、外に出て気分転換します。
15:00	打ち合わせ	国際交流センターの先生と各種プログラム等に関する打ち合わせを行います。
17:00	退勤	翌日の業務、翌週までの業務を確認して退勤します。

| 企 | 画 | 評 | 価

「思考」と「実践」の
二刀流Q₁ 現在の仕事内容について

国立大学法人評価・認証評価と、情報処理に関わる業務をしています。理事や研究者の先生方と行う会議の日程調整や、会議資料・議事録の作成、また執行部の意思決定に必要な資料の作成にも携わっています。評価、情報処理関係の業務に限らず学長府内の他の業務サポートも行っており、例えば大阪・関西万博には信州大学のブーススタッフとして参加しました。

Q₂ 仕事をしていて感じる魅力ややりがいについて

自分が調整した会議や打ち合わせで重要事項が決定したときや、自分が作成に携わった資料が信州大学の資料として外部機関へ提出されたとき、また参加したイベントが無事終了したときは、自分が信州大学のために動くことができたということを実感出来て大きなやりがいを感じています。

Q₃ 職場の雰囲気について

一致団結して課題に向かっていく意識が強く、常に連携やコミュニケーションを大切にしている職場だと思います。またワークライフバランスへの理解が寛容で、現在自分には1歳の娘がいますが育児休業や子の看護休暇等、育児関係のサポートをたくさん受けさせていただいています。

信州大学 学長府学長戦略室
係員

令和3年度採用

桂川 司
カツラガワ ツカサ

8:30	出 勤	メールチェックと今日やるべきことの確認、 おおよそのスケジュールを立てます。
9:30	学長府内 ミーティング	現在取り組んでいる業務や、 今後の予定等の情報を学長府のメンバー間で共有します。
12:00	お昼休み	信州大学構内の豊かな緑を窓から眺めながらお弁当を食べ、 残りの時間は読書をしてゆったりと過ごします。
13:00	資料作成	会議資料や、理事の先生に提出する資料を作成します。
15:00	会 議	会議に必要な資料を準備し、在宅勤務の方がいる場合はリモート 機器のセッティングなどをして円滑な会議のためのサポートをします。
17:15	退 勤	明日やるべきことを確認して退勤し、妻と娘が待つ自宅へ帰ります。

私たちのフィールド > 事務

| 広 | 報

伝えるは、
伝わってこそ



Q 1 現在の仕事内容について

研究所の取り組みや研究成果を、SNSやイベント、広報物を通じて発信しています。また、研究所の施設見学の対応や研究所主催のセミナーやイベントにおける写真撮影など、研究所の活動を伝える業務を幅広く担当しています。業務の中には関係部署との調整も多く、所内外を問わず様々な方と関わる機会があります。

Q 2 仕事をしていて感じる魅力ややりがいについて

研究所の概要を紹介するパンフレットや要覧をはじめとした、広報物の作成に携わることも多いため、完成し、Webサイトで公開された際は大きな達成感があります。また、業務全体を通して、より効果的な情報発信について継続的に模索していくところにやりがいを感じます。

Q 3 職場の雰囲気について

コミュニケーションがとりやすく、分からないことや困ったことがあれば部署を問わず相談しやすい職場です。また、研究所のイベントやセミナーでは、多くの職員が協力して行うこともあり、職場全体の温かさを感じられる場面が多くあります。

国立特別支援教育総合研究所 総務部総務企画課広報係員

令和6年度採用

高巢 翠
タカス ミドリ

9:15	出勤	メールのチェックや1日の予定を確認します。SNSを配信した翌日の場合は閲覧数や反応などの分析を行っています。
	会議	研究所の情報発信やイベントに関する会議に出席します。今後の取り組みについての話し合いや会議資料の作成を行います。
12:00	昼食	
13:00	施設見学対応	研究所に見学を訪れた方に施設を案内します。状況に応じて、施設についての説明も担当することがあります。
17:00	SNSを通じた情報発信	研究所が開催するイベントやセミナー、刊行物の情報を公式SNSを通じて配信しています。
18:00	退勤	翌日に行う業務と優先順位を確認してから退勤します。業務を多く抱えている場合は、必要に応じて残業することもあります。

| 社 | 会 | 連 | 携

継続は力なり

Q 1 現在の仕事内容について

SX(サステナビリティ・トランスフォーメーション)推進室に所属し、社会と大学が持続可能に進化し続ける仕組みづくりに取り組んでいます。日本全体の研究力を向上させ、新たな価値創造を促進していくための「地域中核・特色ある研究大学強化促進事業」の運営や連絡調整、会議・シンポジウムの開催など幅広く担当しています。



長岡技術科学大学 地域共創課 SX推進室SX推進係
主任

平成26年度採用

安藝 智浩
アキ トモヒロ

Q 2 仕事をしていて感じる魅力ややりがいについて

現在の仕事は、学生や教職員だけではなく、企業、教育機関、地域社会など、幅広い方々と深く関わる機会に恵まれています。異なる視点を持つ多くの関係者と協働し、未来の社会を創造するような大きなプロジェクトに携わることによりやりがいを感じます。

Q 3 国立大学法人等職員を選んだ理由について

教育・研究活動を支え、人を育む仕事に携わりたいと考えたからです。多様な分野で活躍する研究者や教員を事務局として支援することで、社会全体の発展、特に日本の教育・研究水準向上に貢献できる点に魅力を感じ、国立大学法人等職員を選びました。

8:30	出 勤	ToDoリストとメールを確認し、優先順位をつけてタスクに着手する。
9:30	課内打合せ	サイトビジットに関する打合せを実施する。
12:00	昼 食	
13:00	連絡調整	教員や他部署との連絡・調整を行う。
15:00	資料作成	会議資料の構成を検討・作成する。
17:15	退 勤	ToDoリストを最終確認し、翌日の業務予定を立ててから退勤する。

私たちのフィールド > 事務

| 医 | 療 | 支 | 援

変化を前向きに 捉え楽しむ

Q₁ 現在の仕事内容について

診療報酬の施設基準に関する業務を担当しています。関係部署と連携して届出の準備や調整を行い、算定開始後も基準を満たし続けられるよう定期的に確認しています。また、2年ごとに行われる診療報酬改定では、新たな施設基準への対応が可能なか関係部署と慎重に検討し、適切な運用ができるようサポートしています。

Q₂ 仕事をしていて感じる魅力ややりがいについて

診療報酬改定で新設された施設基準に対応するため、関係する事務や医療従事者と協力して運用方法やコストの取り方を調整し、届出を行いました。その結果、病院の増収につながったときには、自分の業務が病院経営に貢献できたと実感し、大きなやりがいを感じました。

Q₃ 職場の雰囲気について

周りの上司には、医事課経験の豊富な方が多くおり、困った時にはいつでも相談できるととても風通しのよい職場です。また、休みも取りやすく、係内で協力し補いながら業務を行っており、私は現在の係で2回育休を取らせていただきました。



群馬大学 昭和地区事務部医事課医事係
主任

平成24年度採用

阿佐見 亮太
アサミ リョウタ

8:30	出勤・情報収集	厚生労働省の通知等で、診療報酬改定に係る新たな情報を確認し、課内へteamsで情報共有を行います。
9:30	施設基準実績確認	毎月確認すべき施設基準の実績確認を行い、関係部署へ結果を共有します。
12:00	昼食・気分転換	昼食は早めに食べ、体育館で事務の先輩後輩、先生方とフットサルをして気分転換しています。
13:00	会議資料作成	委員会で各診療科へ周知すべき案件をまとめ資料を作成します。
15:00	新規施設基準届出に係る打合せ	関係部署と運用や算定方法等に関する打合せを行い、打合せ内容を施設基準管理システムへ入力を行い認識の共有を行います。
17:15	退 勤	翌日行う業務のtodoリストを作成し、退勤します。残務や急を要する業務がある場合は、残業となります。

| 総 | 務 | 人 | 事

基礎・基本こそ
丁寧に

Q 1 現在の仕事内容について

労働環境に関する安全衛生、職員個々の健康支援、高ストレスを抱えた職員の支援、労働災害の原因・調査・再発防止に関して、幅広く取り組んでいます。

他にも、傷病手当金や療養費などの私生活に関係する業務や、職員が活用できる補助金やオンラインセミナーの案内などの福利厚生事業も担当しています。

Q 2 仕事をしていて感じる魅力ややりがいについて

今年4月に福祉係へ配属されましたので、業務に不可欠な衛生管理者の免許を取得しました。

家族・職場の協力のもと、時間を駆使して勉強して取得できた分、その勉強内容が実務で役立ったときや、職員からの相談に自信をもって対応できた時はとても嬉しく感じます。

Q 3 職場の雰囲気について

他部署職員と協力して行う定期的な主催事業、研修、施設内の整備などを通して、顔を合わせる機会が多いこともあり、質問・相談しやすい雰囲気だと感じます。

また、私が勤務する機構本部は桜並木があるため、春（昼休憩）は職員で声をかけあい、お花見をすることもあります。



国立青少年教育振興機構
総務部人事課福祉係
係長

平成23年度採用

善如寺 翔子
ゼンニョジ ショウコ

9:15	出勤	優先順位や時間配分を設定し、計画的に業務を遂行します。突発事項が起こることを意識して、業務にあたることが重要です。
	問い合わせ対応や決裁確認	メール、チャット等に届いた問い合わせや決裁対応。ルーティン業務は、月の前半、中間、後半など計画的に業務を振り分けて対応しています。
12:00	昼食	昼食をとり、家庭や保育園から連絡が無いか確認します。
13:00	資料作成や打ち合わせ	主に医療費、福利厚生、安全衛生に関連する委員会準備など資料を作成し、必要に応じて関係部署と打ち合わせをします。
16:00	退勤	翌日、1週間以内、2週間以内など実行する業務のタスクを整理します。育児部分休業を取得しているため、他の職員より早めに退勤します。

私たちのフィールド > 事務

財 務

仕事とは、 社会にできた穴を 埋めること



Q₁ 現在の仕事内容について

大学内の経理、特に調達業務を担当しています。各教職員より購入希望のあった物品・サービスの契約締結や支払手続きを行っています。

特に高額な契約については、全国へ向けた契約の公募を行いますので、様々な事務手続きが必要になります。法令遵守・適切な事務手続きを行うための慎重さが大事な業務となっています。

Q₂ 仕事をしていて感じる魅力ややりがいについて

調達業務にあたっては、法令遵守と学内予算の制限があるので、慎重に意思決定を行う必要がある反面、時には大胆な交渉をする必要もあります。

その中で、予算以上に安価で契約を決定し、全ての事務手続きが滞りなく完了したときは、達成感と安堵があります。

Q₃ 後輩に求める姿

自分の意見をしっかりと持った上で、自分の意見を疑える方です。業務の判断には自分の意見が必要ですし、上司や先輩の意見を正しく受け取るには、自分の考えを見直す姿勢も欠かせません。

積極的な意見を持てる方と一緒に働けることを心より楽しみにしています！

上越教育大学 財務課経理・契約チーム
スタッフ

令和3年度採用

広川 史大
ヒロカワ フミト

1日～10日	入札に係る資料の作成①	大学で行う事業の契約をするため、入札公告に必要な資料を作成します。外部に向けて公表するものなので、間違いがないよう留意しています。
11日～21日	伝票の処理	契約完了後に、業者へ支払をするための伝票を作成します。金額などに誤りがないよう細心の注意を払って作業しています。
22日～30日	入札に係る資料の作成②	入札公告後の業者選定に関係する資料の作成をします。大学の予算と公平性とのバランスを考慮して業務を進めています。
※毎日	少額の契約	金額が比較的小さい契約の締結です。発注から納品・検収を正確に行います。
※毎日	その他業務	教職員からの予算使用の相談、立替払申請の処理、学内複合機の管理など、その他にも多くの業務を行っています。

誰にとっても 分かりやすく

Q 1 現在の仕事内容について

全学の学生・教職員を対象に、リテラシー教育を行っています。主な業務は、データベースの活用方法や文献検索方法を紹介する講習会の開催と、学習・研究に役立つ情報を発信するウェブサイトの運営です。チームには、図書館システムや機関リポジトリなどの管理・運用を担う担当もあり、デジタル面から大学図書館を支えています。

Q 2 仕事をしていて感じる魅力ややりがいについて

講習会の後に、受講者から「データベースや検索テクニックを駆使した、新しい検索方法を知ることができた。今後積極的に活用したい」と言っていただけたとき。学生や教職員の学習・研究に少しでも貢献できていると実感すると、大きなやりがいを感じます。

Q 3 今後の夢や目標について

大学図書館に限らず、全ての図書館の提供するリソースが、多くの方にとって役立つものだと思ってほしいと考え、司書を志しました。学習や研究に欠かせない大学図書館の一員としてその活動に貢献することで、「図書館＝人生に役立つ存在」と感じてもらえるよう努めていきたいです。



東京大学 情報システム部情報基盤課
学術情報チーム学術情報リテラシー担当
一般職員

令和5年度採用

和泉 真理
イズミ マリ

月曜日	講習会の準備	今週開催する講習会に向けて、事前に作成したテキストや台本を確認しながら、個人でリハーサルを行います。
火曜日	問い合わせ対応 (在宅勤務)	週に2日は在宅勤務をしています。図書館とは別部署に所属しているため、カウンター業務や配架といった、図書館らしい業務は行っていません。
水曜日	講習会の開催	学内の図書館・室と共催している講習会で、講師を担当します。データベースを使って文献を探す方法などを、実際に操作しながら説明します。
木曜日	ウェブサイト更新 (在宅勤務)	学習・研究支援ページの掲載情報について、内容が古くなっていないか、利用者に伝わりやすい内容かなどを確認し、更新を行います。
金曜日	授業内で 講習会を実施	学内の授業に出張し、講習会を実施します。授業内容や研究テーマに合わせた検索実習を行い、受講者の理解が深まるよう工夫しています。

私たちのフィールド > 技術

何事も無理せず 自分のペースで

Q 1 現在の仕事内容について

工事監理、発注業務、学内部局調整が主な仕事です。工事監理は新営工事や耐震改修工事、外構工事等、幅広く行っています。また、建築方針を決定するために建物を利用・所管する部局と打ち合わせを重ねますが、教育・研究目的の建物から学生宿舎まで、多様な建物に関わるため、学内のさまざまな部局や教職員と連携する機会があります。

Q 2 仕事をしていて感じる魅力ややりがいについて

設計時から打ち合わせを重ねてきた施設が完成に近づく様子を間近で見られることに、大きなやりがいを感じます。また、改修工事で歴史ある学内施設がきれいになっていく過程を見ることも業務における楽しみの一つです。

Q 3 技術系職員を選んだ理由

大学ではコンクリート研究室に所属し、コンクリート造の建物に関わりたと思ったため技術系職員を志望しました。また、大学では土木を専攻していましたが、建築関係の仕事に就きたいと考えていたため、建築職で受験しました。

(施設系) | 技 | 術 | 職 | 員



筑波大学 施設部施設整備課整備推進係
施設系技術職員

令和6年度採用

大江 莉央
オオエ リオ

8:30	出 勤	メール返信や当日の打合せ資料、現場検査資料の確認等を行います。朝は連絡と一日の準備をメインに行います。
10:00	設計打合せ	耐震改修設計について、設計業者と打合せをします。
12:15	昼 休 み	昼食は部内で注文するお弁当を食べます。昼食後は、午後に眠くならないように自席にて仮眠をとります。
13:30	現場検査	新営工事を行っている施設の現場検査を行います。配筋検査やボルト軸力検査など様々な検査項目があります。
15:00	発注資料作成	戻ってきてからは、打合せや現場で出た質疑回答を行います。また、発注資料の作成も並行して進めています。
17:15	退 勤	明日行う業務の整理をして退勤します。残業はありません。

(教育・研究支援系) | 技 | 術 | 職 | 員

昨日より今日、
今日より明日



Q 1 現在の仕事内容について

環境都市工学科において、主に実験・実習の支援業務を担当しています。

橋梁構造の力学解析、土質試験、測量実習など都市分野の技術支援に加え、小中学生に向けた体験入学やオープンキャンパス、公開講座など学外イベントの企画・運営にも関わっています。

Q 2 仕事をしていて感じる魅力ややりがいについて

学生の成長を肌で感じられることに、大きなやりがいを感じています。少し前まで受動的だった学生が、いつの間にか自ら考え行動する能動的な姿へと変化していく様子を見ると、人の成長の力強さと可能性を実感します。実験を通じて多くの学生と交流できることも、楽しみのひとつです。

Q 3 技術系職員を選んだ理由

民間企業で培った実務経験を基にキャリア教育に携わりたいと考え志望しました。特に危険を伴う実験・実習において、現場で得た専門的な知識と安全管理の視点を活かし、学生の理解と意識向上に貢献したいと考えています。

木更津工業高等専門学校 教育研究支援センター
技術職員

令和6年度採用

柳澤 良樹
ヤナギサワ ヨシキ

8:30	出 動	打ち合わせ、締切等を考慮した1日の予定を確認。
9:00	実験準備	午後の実験に向けた器具の動作確認、材料準備など。
12:15	昼 食	
13:30	実験支援	安全を最優先に、支援業務を行う。
16:00	データ整理	実験で得られたデータを確認する。
17:00	退 勤	



茨城大学 技術職員にインタビュー

—— まずは、それぞれの業務内容について教えてください。

岡田 茨城大学は、水戸・日立・阿見のキャンパスにある大学施設に加えて、附属の小学校や中学校、特別支援学校、幼稚園などの多様な施設があります。それぞれ特色のある施設の整備を通して、学生、生徒、児童や教職員が安心して教育を受けたり、研究を行える施設を整備して環境を維持する——それが、私たち技術職員の大切な役割です。日常のメンテナンスはもちろん、工事を行う際には、大学施設の設計から積算、入札、施工管理までを一貫して担当します。国の補助金を活用した工事も多く、予算要求の段階から携わります。現在は課長補佐として、現場を支えながら若手職員への技術指導やチームマネジメントにも力を注いでいます。



平成31年度採用

茨城大学 財務部施設課
課長補佐(整備保全担当)

岡田 行由 オカダ ユキヨシ

染宮 私は大学内の施設全般の維持管理を担当しています。日々寄せられる依頼の中には、「水が噴き出した」「ドアが開かない」といった急なトラブルもあります。現場に駆けつけ、その場で対応したり、必要に応じて業者と連携し修繕を進めたりと、臨機応変な判断が求められます。また、新しい実験機器の導入に合わせてコンセントの増設を検討するなど、研究環境の整備にも関わります。大きい案件では、建物一棟の全面改修を設計段階から完成まで担当します。大学の技術職という、裏方のような印象を持たれるかもしれませんが、実際はキャンパスの“いま”を支える最前線の仕事だと感じています。

—— これまでの業務の中で、特に印象に残っている仕事を教えてください。

岡田 一つは、附属小学校の給食室改修です。約40年前に建設された施設の老朽化対策と現行の学校給食衛生管理基準を満たすための改修工事でしたが、当初は増築工事で検討していました。しかし、増築には建設費だけでなく、その後の維持管理費もかかるため、既存の図書館などを給食室へ改修することとなりました。水回りのない場所に多くの配管を通す必要があり、床下の勾配をどう確保するかなど課題も多かったのですが、無事に完成したときの達成感は格別でした。「子どもたちに美味しい給食を提供できています」との声をいただいたときには、胸が熱くなりました。また、日立キャンパスの工学部改修では「研究室を一定の湿度と温度に保ちたい」「天井高を上げたい」など、先生方から細かな要望を数多くいただきました。建物一つを整備するにも、多くの人の想いがあります。それを最適な形にまとめていくことに、この仕事の面白さを感じます。そして、その積み重ねが大学の“かたち”をつくっていくのだと思います。

染宮 私は入職2年目、東日本大震災の直後に担当した図書館の改修と増築工事が印象に残っています。更地から

少しずつ建物が立ち上がり、完成に至る過程すべてに関わったのは初めてで、とても感慨深い経験でした。内装の提案も任せていただき、「一部をガラス張りに」「グレーを基調とした落ち着いた空間を」など、学生が落ち着いて学びに集中できる空間づくりを心がけました。また、水戸キャンパスの共通教育棟1号館ライトコート改修では、閉鎖的だった中庭を開放的なウッドデッキに変更し、アコーディオン式の開閉窓を採用するなど、利用する学生や教職員が心地よく過ごせるよう工夫を重ねました。限られた条件の中で最善を探っていく、その過程にこそ建築の面白さや創造性を感じます。自分の提案が形となり、多くの人に使ってもらえている様子を見るたびに、大きな喜びを覚えます。



——技術職と聞くと、ハードルが高そうと感じる方もいるかもしれません。

染 宮 最初は少し構えてしまうかもしれませんが。でも実際に働いてみると、建築や関連法規の知識はもちろん、日々の業務を通して自然とスキルや知見が広がっていくのを実感します。さらに、電気や機械を専門とする担当者から丁寧に教えていただきながら進められるので、建築以外の知識や考え方も徐々に身につけ、専門の垣根を越えて学び合う面白さを日々感じています。

——岡田さんは茨城大学に転職して7年目を迎えるそうですね。以前は、マンションやビルの総合不動産管理の大手企業に勤めていたと伺っています。民間企業と大学法人では、どのような違いがありますか？

岡 田 そうですね。大きな違いは業務に対する評価でしょうか。営利目的の民間企業は、商品やサービスを提供し売上で評価されます。一方、国立大学法人では、携わった施設整備の業務が、学生の利用状況や教職員からの感想・意見を通じて、自分の目や耳で評価を確認できます。大学は教育の場だからこそ、社会的意義を感じながら責任のある業務に挑戦できる。これは国立大学法人で働く醍醐味だと思います。



平成23年度採用

茨城大学 財務部施設課
管理保全グループ

染宮 明美 ソメミヤ アケミ

——お二人を感じる、大学で働く技術職の魅力とはどんなところでしょうか。

岡 田 建築と言っても、計画・設計・施工・管理（監理）など幅が広いです。民間企業では業務として携われる分野は限られてしまいます。しかし国立大学法人の技術職は、外部委託するものもありますが、計画～管理（監理）の業務に深く関わっていく点が特長です。そのため、業務を通じて幅広い知識を習得することができます。私自身、前職では施工管理を中心に経験してきましたが、大学生時代に技術職の存在を把握していたら、きっと新卒で国立大学法人に応募していたと思います。それほど、やりがいと成長の幅がある職種だと思います。

染 宮 大学における施設管理の仕事の魅力は、自分が手掛けた仕事の“かたち”が、キャンパス風景として残ることです。大学を歩くたびに「この建物、この階段の配色…、担当したんだな」と思い出される場所がいくつもあります。また建物をつくるというのは、形を整えるだけでなく、人が安心して快適に過ごせる空間をどう実現するかを考えることでもあります。法律や安全面を意識するのはもちろんですが、実際に使う人たちの気持ちを想像しながら進めていくことを大切にしています。先日、グラウンドの補修整備を行った際、完成直後にラグビー部の学生さんから「ありがとうございました」と直接声をかけてもらいました。そんな瞬間に、やってきてよかったと心から感じます。「ここで過ごす学生や先生にとって、より良い環境とは何だろう」。その問いを胸に設計や工事を進める時間こそ、何ものにも代えがたい充実の瞬間です。





私たちのキャリア形成

キャリアパス

係員として採用され、いくつかの部署を経験した後、勤務成績、年齢等を考慮して主任、係長、課長補佐、課長といった順に昇任します。人事異動は、組織の活性化と人材育成の観点から、約2～3年ごとにあり、様々な業務を経験します。

経歴

令和7年4月1日
人文社会科学系総務課庶務係



新潟大学 人文社会科学系総務課庶務係
一般職員

令和7年度採用

大塚 康正
オオツカ コウセイ

Q₁ 現在の仕事内容について

主に、科研費などの外部資金の申請窓口や、企業契約等の研究に伴う活動の支援を担当しています。教員の問い合わせに丁寧に対応し、解決するまで真摯に向き合うことを日々心掛けています。その他に、各種調査・統計や、部局内教職員への学内通知の周知といった、庶務業務も幅広く担っています。様々な部局の教職員と接するので、どうすれば円滑にコミュニケーションを取れるかを考えながら業務に取り組んでいます。

Q₂ 職員になる前後で仕事や職場のイメージについて

入職前は個人が黙々と業務に取り組む働き方を想像していましたが、実際には周囲と助け合いながら業務を進めており、他部署の職員も含め誰にでも相談しやすい環境であることに安堵しました。私自身も、最初は担当業務について不明な点が多々ありましたが、上司からのフォローをはじめ、自分からも積極的に相談することで不安を解消することができました。周囲との協働の中で成長できる点は、働き始めてから気が付いた大学職員の魅力の一つです。

Q₃ 今後の目標について

現在の業務は教員対応が中心なので、学生と関わる業務にも携わってみたいです。教員や学生、職員など、どんな立場の人にも寄り添えるような知識と経験を身に付けて、一担当者としてだけでなく、私個人を信頼してもらえるような大学職員になることを目標にしています。

経歴

令和元年10月1日
医学域事務部医学域総務課
(総務グループ)
令和4年4月1日
医学域事務部病院経営企画課
(企画・予算グループ)
令和4年6月1日
医学域事務部病院経営企画課
(経営分析グループ)
令和5年4月1日
人事部人事課
(文部科学省行政実務研修生)
令和6年4月1日
総務企画部企画課主任
(企画・評価グループ)



山梨大学 総務企画部企画課 企画・評価グループ
主任

令和元年度採用

清水 隆弘
シミズ タカヒロ

Q₁ 現在の仕事内容について

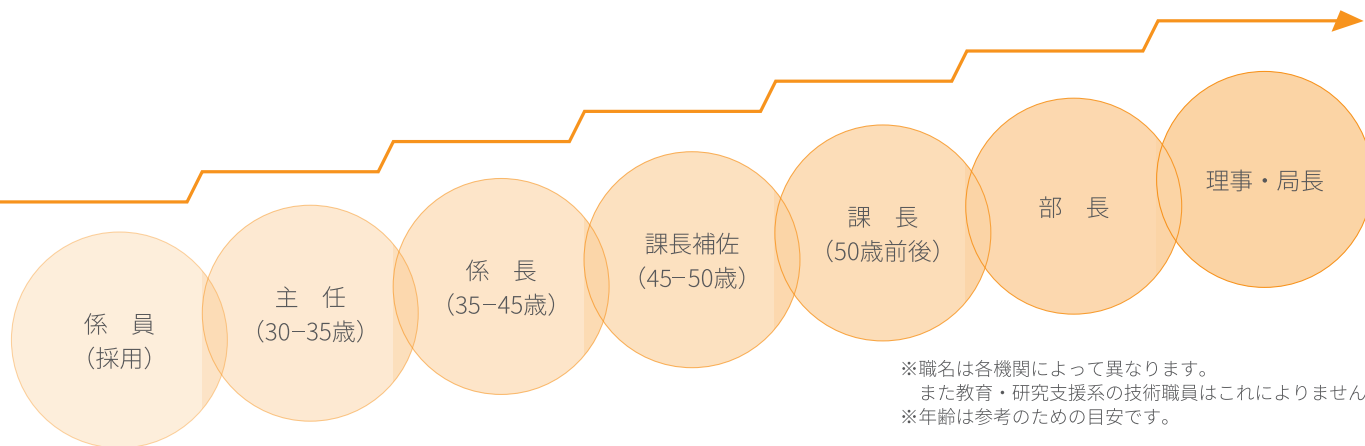
私は、大学の将来構想や経営方針に関わる企画業務を担当しています。新しい学部や教育研究組織を設置するための計画策定や、国(文部科学省)に提出する資料の作成などに取り組んでいます。また、大学の運営方針を話し合う会議の運営や資料作成も重要な業務の一つです。企画業務は大学の方針づくりに関わり、その成果を実感できる点にやりがいがあり、教育や研究をよりよく進められるよう大学の取り組みを支える重要な役割だと実感しています。

Q₂ 印象に残っている仕事について

私が特に印象に残っているのは、大学に新たな教育研究組織を設置する企画に携わった経験です。概算要求という国の予算要求の仕組みを通じ、文部科学省に新組織設置を申請しました。申請にあたって、大学や社会にとって必要な組織の姿を検討しつつ、学内の関係部署と連携し、設置に向けた資料を作成しました。課題や調整も多く苦労しましたが、最終的に申請内容が認められた際には大きな達成感とやりがいを感じるとともに、企画業務に携わる責任の重さを実感しました。

Q₃ 今後の目標について

これまでの大学での業務や文部科学省での研修で得た経験を活かし、大学運営の知識をさらに深めて大学の発展に役立てたいと考えています。また、一人でできることには限りがあるため、何事においても周りの方と協力しながら取り組んでいきたいと考えています。



経歴

平成15年4月
弘前大学総務部人事課採用
(任用係・人事グループ)
平成20年4月
独立行政法人大学評価・学位授与機構
評価事業部評価第二課法人評価第四係
平成21年4月
独立行政法人大学評価・学位授与機構
評価事業部評価第一課認証評価第二係
平成23年4月
弘前大学総務部企画課企画評価グループ
平成24年4月
国立教育政策研究所総務部会計課経理係
平成25年4月
国立教育政策研究所総務部庶務課人事係
平成26年4月
国立教育政策研究所総務部庶務課
人事係主任
平成28年4月
横浜国立大学戦略企画室企画課企画調整係主任
平成29年4月
横浜国立大学企画戦略本部企画課企画調整係主任
平成30年4月
横浜国立大学総務企画部総務企画課
企画調整係主任
令和2年7月
横浜国立大学学務部学生支援課学務総務係長
令和4年4月
横浜国立大学総務企画部人事・労務課
職員・共済係長



横浜国立大学 総務企画部 人事・労務課 職員・共済係
係長

平成15年度採用

松枝 寛
マツエダ ヒロシ

Q₁ 現在の仕事内容について

教職員の勤務時間や休暇、その他の勤務条件のルール、社会保険、福利厚生、表彰制度など教職員が安心して働けるための環境作りの仕事をしています。就業規則の改正など制度づくりを進める際には、国の規則や通知に加え、民間企業等の働き方の動きも踏まえながら検討を重ねています。教職員が安心して働き、力を発揮できる環境を整えることが私たちの役割であり、その基盤を支えることに大きな意味を感じています。

Q₂ 印象に残っている仕事について

国立大学の法人化後、初めて行われた国立大学法人評価を実施するため、当時の大学評価・学位授与機構に出向し、各大学の教育研究評価の業務に携わったことが一番印象に残っています。評価作業の過程ではアカデミックな用語が飛び交うなど、最初は何かと戸惑うことも多かったのですが、全国から集まった多くの大学職員や評価委員とのチームワークの下、書面による調査や現地調査を行い、無事に社会に対して評価結果を公表できたときは大きな達成感がありました。

Q₃ どんな職員と一緒に働きたいか

大学職員の仕事は地道なものも多いですが、様々な状況や人とのやり取りがあります。そんな中でも落ち着いて冷静に対応し、周囲の状況や気持ちに配慮しながら仕事を進められる人と一緒に働きたいです。そうした姿勢があると、教職員全体が安心して力を発揮できると思います。

経歴

平成17年11月1日
学務部学務課修士課程係
平成18年4月1日
総務部総務課法規・文書係
平成20年4月1日
文部科学省 行政実務研修
平成21年4月1日
総務部企画課企画係
平成21年7月1日
総務部総務課評価推進室調査係
平成23年4月1日
日本学術振興会 国際学術交流研修
平成25年4月1日
学務部国際課国際企画係
平成27年4月1日
文部科学省 初等中等教育局教職員課
教員免許企画室認定係 主任
平成28年4月1日
同 係長
平成29年4月1日
学務部国際課国際事業係 係長
平成31年4月1日
学務部国際課短期留学係 係長
令和3年4月1日
総務部総務課広報・基金室広報・基金係 係長
令和3年11月15日
(兼)学長室付係長
令和4年4月1日
学務部先端教育推進課企画係 係長
令和7年4月1日
学務部先端教育推進課
副課長(兼)企画係 係長



東京学芸大学 学務部先端教育推進課
副課長

平成17年度採用

岩澤 大介
イワサワ ダイスケ

Q₁ 現在の仕事内容について

先端教育推進課は、現代的な学校教育課題に基づくプロジェクト型の研究開発を行う先端教育人材育成推進機構という組織の運営支援や、国が掲げる「新たな教師の学びの姿」の実現に向けた教員研修プログラムの実施など、社会の変化に即応した先駆的な事業を担っています。その中で自らの役割として、担当理事らと知恵を出し合っ新しいプロジェクトの構想を練ったりする一方、課内の職員がスムーズに実務を進められるように目を配り段取りを整えるよう努めています。

Q₂ ターニングポイントとなった経験について

採用4年目に当時の事務局長の下、周年記念シンポジウムを企画・実行する若手チームの一員となり、もう一人の先輩職員とともにリーダー役に指名されました。わずか一か月半という準備期間の中、著名な方々を招いてのイベントであったため、終わるまで緊張が尽きない仕事でしたが、業務のマネジメントの経験を積む最初の大きな機会となりました。

Q₃ 職員に求めることや期待することについて

自分の仕事が「学生のため」「教員・研究者のため」「社会のため」になっているか。目の前のルールや慣例自体が目的化していないか、必要があれば変えていくための柔軟な発想と行動力を伴っているか。自分自身も含めこうした視点を忘れずに取り組むことが大切だと考えています。



日々の小さな挑戦が 大学の未来をデザインします。

採用～係員・主任時代(財務課総務係、出納係、資産係、決算係、契約係、会計係)

小さくとも“成果”を残せたのは 背中を押してくれた上司がいたから

大学という組織は教育や研究を基盤にしていますが、その運営を支える職員の業務は実に多岐に渡ります。東京農工大学では定期的に部署異動があり、職務分野を超えて幅広い経験を積むことができる一方で、予算や会計といった近接領域での異動も多いです。そのため、ジェネラリストとスペシャリスト双方の視点を養うことができます。

入職から現在に至るまで、私が働く上で意識しているのは、前例や慣習のやり方に固執して仕事を単にこなすのではなく、業務の改善や新たな仕組みづくりに挑み、小さくとも確かな“成果”を残すという点になります。そうした成果の積み重ねが、自らの人材価値を高めると同時に、大学組織の持続的な成長にも貢献できると考えているからです。

若手時代に特に思い出深いのは、マクロを用いたエクセルシステムを構築し、日常業務の効率化に積極的に取り組んだことや、財務課で決算を担当していた時に、自ら提案した本学初となる会計ハンドブックの作成です。このことは、多くの国立大学に先駆けた取り組みとなりましたし、その後、学内で法人会計を学ぶ研修が立ち上がるきっかけにもなりました。

採用から10年は、「大学運営をお金の側面から理解できた時期」でした。組織運営とお金は切っても切れない縁ですので、財務・会計系のあらゆる部署を渡り歩いた経験は、今後の異動でどの部署に配属されても地に足をつけて取り組めるという自信に繋がりました。もっとも、私が様々なアイデアや業務改善を臆せずに試みることができたのは、「責任は取るから自由にやってみろ」と背中を押してくれた上司の存在です。自らが課長になった今、同じ姿勢で部下と向き合うよう努めています。

係長時代(予算係長、評価係長、給与係長)

予算100億円の編成を担当！ 小さな組織だからこそ若手も活躍できる

他の国立大学と比べると東京農工大学は規模的には小さな組織と言えます。だからこそ、入職11年目の新米係長の私に大学の予算を任せていただいたように、若手が活躍しやすい環境にあります。この予算担当部署で私は約100億円の予算の編成を担いました。メリハリのある予算配分を徹底する一方で、コンペ形式の新規予算枠を新たに創設し、各部署が主体的に業務に挑戦できるよう下地を整えました。“数字”を通じて大学の未来を形作る経験は重圧ではありましたが、とても創造的かつ刺激的でした。

続く企画・評価の係長としては、文部科学省に提出する第3期中期目標・中期計画にかかる報告書の作成や、大学の教育・研究活動等の質を担保する認証評価への対応、そして、第4期中期目標・中期計画期間へ向けた新たな目標づくりに従事しました。この期間は、「大学運営を評価の側面から理解できた時期」であり、本学独自の入試制度や研究力の高さなど、本学の強みを再発見するいい機会にもなりましたし、学内では当たり前に見える取り組みも、外部の視点から見ると新鮮で高く評価される、そんな“視点の逆転”を今回の経験を通して実感し、今も大きな財産になっています。



東京農工大学 経営部経営企画課 課長

平成16年度採用

村田 真巳

ムラタ マサミ

続く人事課では、国が推進している人事給与マネジメント改革を主導しました。これまで手付かずだった取組への対応を率先して進めた結果、文部科学省から一定の評価を受けることができたのは、その後の仕事に対するモチベーションの向上に繋がりました。同時に、“人材が育つ大学”を目指して、若手が正当に評価される人事方針の枠組みづくりにも着手しました。

係長になると大学執行部と直接関わる機会も増え始め、大学全体の運営の一端を担っているという実感が増していきます。責任は大きくなりますが、その分、仕事としての役割を全うしないといけないという意識はますます強くなりましたし、仕事への達成感や充実感も格段に高まったように思います。

副課長・課長時代(人事課副課長、経営企画課副課長、経営企画課長)

大学の自律化に向けて“前例のない”課題に挑み続ける

その後、2年前の2023年7月に人事課の副課長、翌年7月には経営企画課の副課長になると、課全体を俯瞰する立場になります。日々起こる大小さまざまな課題に対応しながら組織の方向性を整えていく。前例のない課題に挑む毎日です。

なかでも人事課では、若手職員の育成に力を入れました。私自身が若手の頃、背景も知られず、ただ上司から与えられた仕事をこなす日々疑問を感じていました。それまでの慣習が必ずしも最適解だとも限りません。そこで、今、大学は何を考えどう行動しようとしているのかといった、目指している方向性をしっかりと伝え、若手自身も自分事としてとらえられる場の提供をしました。そのほか、組織の活性化を期待して、大学と外部組織の橋渡し役である「コーディネーター職」の採用枠の新規設置、独自の採用試験やキャリアパス制度の刷新、そして定年の引き上げの仕組みを整える等、様々なことにチャレンジする機会に恵まれ、大きく飛躍した一年となりました。

続く経営企画課では、「J-PEAKS(地域中核・特色ある研究大学強化促進事業)」の運営を担当しています。この事業は研究力の強化と並走させて国の補助金に頼らない大学の自律化の仕組みづくりを目的とした、予算60億円の大規模プロジェクトになります。経営企画課としても私自身も、事業運営そのものが初めての経験であるため、大学全体の力を借り、試行錯誤を重ねながら、着実に前進させています。現在は、経営企画課の課長として課全体のマネジメント業務をしつつ、「J-PEAKS」の取り組みも引き続きサポートしています。

仕事は人生の大半を占めます。改めてこれまでの仕事を振り返ってみると、やるからには役割を全うして、意味のある、価値のある“何か”を必ず残すという姿勢を貫いてきました。事務職員であれ、技術職員であれ、国立大学法人での仕事は、教育や研究を陰で支えるだけでなく、大学の未来をデザインする営みそのものです。同時に大学は、常に変化し続けなければならない組織であり、事務職員の役割もまた進化を求められています。創意工夫を重ね、次世代により良い仕組みを託すこと、それこそがこの仕事の醍醐味だと感じています。



Message

大学職員の仕事は、与えられた業務を単にこなすだけではなく、自ら課題を見出して解決することに面白さがあります。前例に縛られず挑戦する姿勢は、変革を求められる今の大学に不可欠と言えます。若手にも大きなチャンスがあり、意欲次第で自らが前例をつくる立場になれます。行く先々で「小さくとも成果を残す」という心持ちで臨めば、それが積み上がり大学全体の底上げに貢献できます。一緒に変化を楽しみましょう。



キャリアデザイン(研修)

文部科学省 国際業務研修・国際教育交流担当職員
長期研修プログラム(LEAP)についてQ₁ 研修の内容について

文部科学省において1年2カ月間、国際業務に従事した後、10カ月間、米国等の海外大学に派遣され、実務研修を行います。私の場合、前半2カ月間が米国のモンタナ州立大学、後半8カ月間がドイツのアーヘン工科大学でした。モンタナ州立大学では英語研修や米国の高等教育制度について学び、アーヘン工科大学では海外研究者のサポート業務に従事しました。

Q₂ 研修経験が業務等で活かされている点

帰国後、ドイツ大統領が本学を訪問された際、そのサポート業務に従事させていただきました。また、ドイツで学んだ先進的な海外研究者支援の体制について報告する機会もあり、間接的ではありますが、大学全体の国際化に貢献できるよう努めています。私生活でも、現地で知り合った方々との交流が続いており、多様な価値観に触れる貴重な機会となっています。

東京科学大学 研究院事務部 研究院企画調整課
総合研究院総務グループ
一般職員

令和3年度採用

西村 竜輝

ニシムラ リュウキ



キャリアデザイン(人事交流)

機関名：一般社団法人 国立大学協会

Q₁ 人事交流先機関での仕事内容について

広報担当と調査・入試担当の二つの係を経験しました。広報担当では広報誌の作成や記者会見の運営を、調査・入試担当では委員会の運営や文部科学省等の審議動向の調査を行いました。そのほか、基本方針の改訂や会員校への調査にも携わり、多岐にわたる業務を経験しました。

Q₂ 人事交流経験前と経験後での価値観の変化
人事交流を通じて学んだこと

協会には国立大学からの出向者、文部科学省の職員や元学長など、多様な方々がいらっしゃいました。こうした環境での仕事を通じて、自身の大学の枠にとらわれず、物事を広い視点で見ることができたと感じます。また、ルーティンにとどまらない業務にも携わり、新しい取組を提案することへの抵抗感が減り、より前向きに挑戦できるようになりました。

筑波大学
総務部組織・職員課(人材育成)
一般職員

平成30年度採用

江崎 奈津子

エザキ ナツコ



私たちのワーク・ライフ・バランス ～豊かに生きる～

子どもも仕事も大切に。 私らしいキャリアのかたち

Q₁ 産休、育休を取得する前に不安に感じていたこと

「なるようになる」と思いつつも、復職後に育児と仕事を両立している姿をイメージできず不安を感じていました。過去には現場対応が多い広報や企画展などの部署を担当していたため、子育てをしながら同じように働き、パフォーマンスを発揮できるのだろうか――。キャリアパスが描けず、不安な気持ちを抱えていました。

Q₂ 産休、育休から復帰後に心掛けていること

現在はデスクワークが中心の部署で育児時短勤務を活用しています。復職後、不安を払拭してくれたのは先輩ママである同僚からの「ママは一人しかいない」という言葉でした。子どもを第一に考えつつ、今の自分にできる最大のパフォーマンスを意識し、職場の温かな理解とサポート体制のもと、安心して育児にも仕事にも専念できています。

国立科学博物館
経営管理部総務課人事・労務担当
係員

令和元年度採用

鳥谷 明子

トリタニ アキコ



育児と仕事を両立するため

Q₁ 育児休業をとろうと思ったきっかけ

一人目のときは1か月、二人目は2か月、三人目は9か月の育児休業を取得しました。最初の子どもが生まれる前は、育児への楽しみと同時に、仕事との両立への不安もありました。育児休業を取得して育児に専念する時間を作り、育児に関する知識や育児スキルが少しでもあげられれば、復帰後も仕事と育児を両立できるのではないかと考え取得しました。

Q₂ 育児休業を取ってよかったと思うこと

一人目・二人目の育児休業を通じて、育児の大変さを実感しました。その経験から、三人目のときは長期の育児休業を取得し、心に余裕を持って子どもたちと接することができました。兄妹それぞれに個性があり、子どもの月齢によって心配ごととも異なるため、夫婦で気になることをすぐに共有し、話し合いながら対応できたことは非常に良かったと感じています。

東京工業高等専門学校 総務課人事労務係
係長

平成18年度採用

井口 貴太

イグチ リュウタ



休暇の取りやすい職場で趣味の旅行を満喫しています！

Q₁ 趣味について

休暇には旅行を楽しんでいます。日帰りや1泊での関東近郊への小旅行から2,3泊での東アジア諸都市へのオーソドックスな一人旅、さらには数週間に及ぶ中央ヨーロッパ周遊に至るまで、スタイルは様々です。普段とは異なる環境に浸ることで、心身にとって良い刺激を得られ、日々の活力の源にもなっています！

Q₂ 仕事と趣味を両立するために工夫されていること

数泊以上の旅行の際は、休暇を取得する必要があります。そうした場合、事前に上司に取得時期を相談したり、他の職員とも協力しながら業務の効率化を図ったりすることが重要となります。(もっとも、休暇を取得しやすい環境ではありますが。)つまり、楽しい旅の秘訣は、常日頃からの職場でのコミュニケーションにあるのかもしれません。

大学改革支援・学位授与機構

大学連携・支援部大学運営連携課連携第2係

係員

令和6年度採用

萩尾 圭介

ハギオ ケイスケ



立ち止まるのも必要

Q₁ 国立大学法人等の魅力、民間企業での仕事内容、民間企業との違い

前職では、鉄道の運行を支える技術職員として働いていました。やりがいは感じていましたが、夜勤等体力も必要で、将来の働き方がイメージできず転職を決めました。大学の施設系職員を志した理由は、女性でも長く勤めやすいことと、前職の経験を生かせると思ったからです。今は大学や病院施設の保守、改修を通して皆さんの安心と学業環境に貢献できていると感じています。ワークライフバランスも向上し、趣味に充てる時間も増やすことができました。

Q₂ 転職を考えている人へのメッセージ

転職で何を一番に改善したいか軸を考えるといいと思います。就職活動の一度で納得のいく仕事に出会うなんて難しいと思って、気負わず焦らずじっくり自分と向き合う時間を持ってください。より良い仕事に出会えることを願っています。

東京科学大学 施設部湯島施設課設備第1グループ
一般職員

令和5年度採用

佐藤 里咲

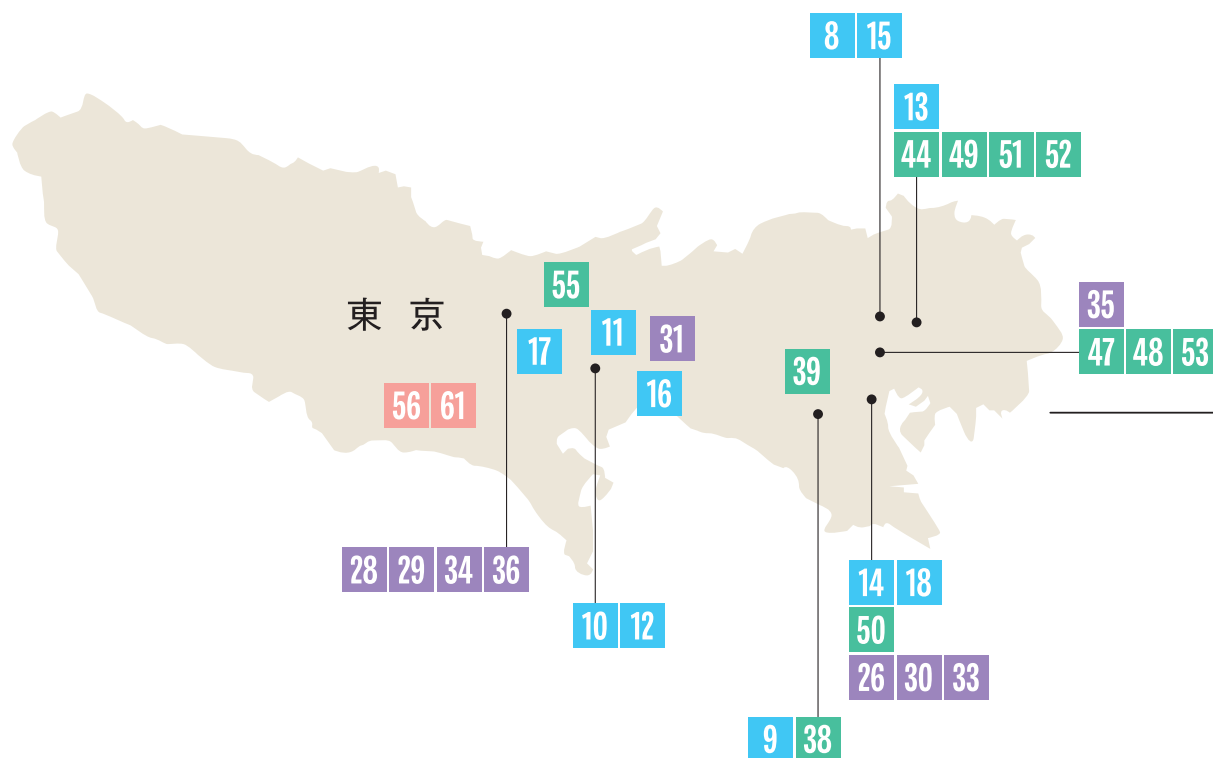
サトウ リサ



関東甲信越地区64機関紹介

各機関は、設置以来の歴史と伝統、学問分野、規模、重視する機能などの違いから、様々な個性と特色をもっています。

個性輝く64の機関は、あなたの未来をひらく「知の拠点」です。



国立大学法人

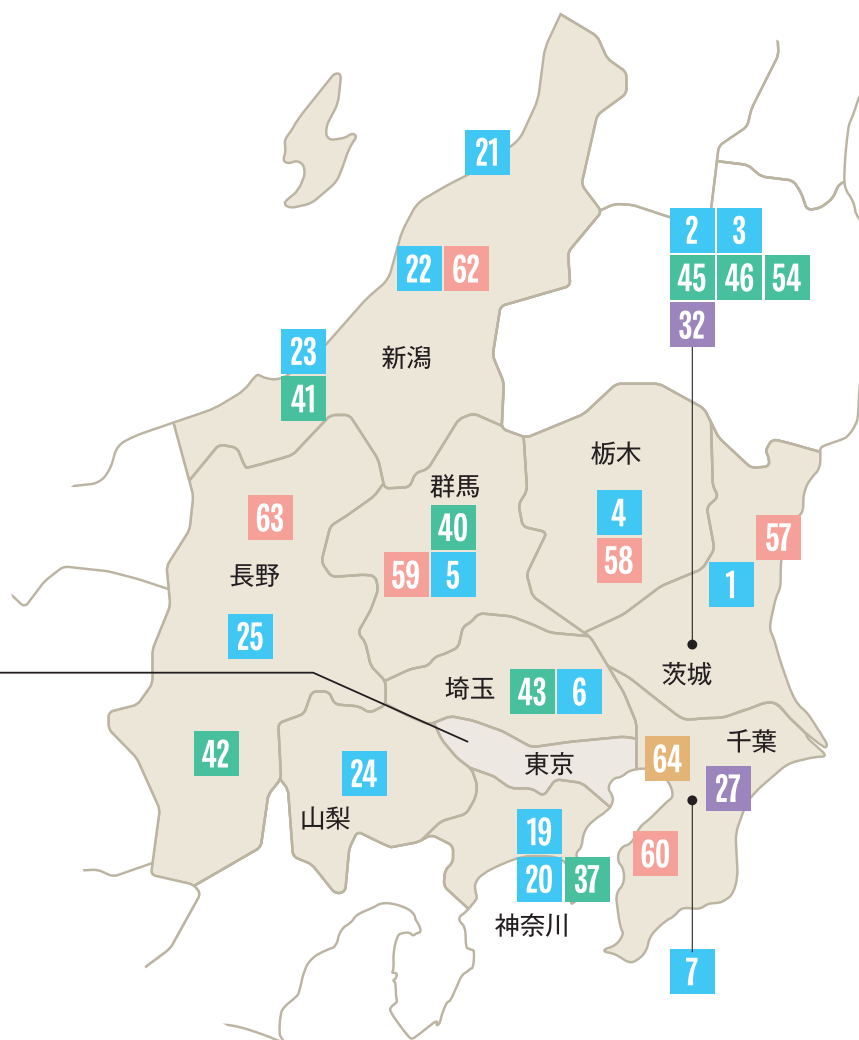
(25機関) P28～

1 茨城大学	P28	14 東京海洋大学	P30
2 筑波大学	P28	15 お茶の水女子大学	P30
3 筑波技術大学	P28	16 電気通信大学	P30
4 宇都宮大学	P28	17 一橋大学	P30
5 群馬大学	P28	18 政策研究大学院大学	P31
6 埼玉大学	P29	19 横浜国立大学	P31
7 千葉大学	P29	20 総合研究大学院大学	P31
8 東京大学	P29	21 新潟大学	P31
9 東京科学大学	P29	22 長岡技術科学大学	P31
10 東京外国語大学	P29	23 上越教育大学	P31
11 東京学芸大学	P29	24 山梨大学	P32
12 東京農工大学	P30	25 信州大学	P32
13 東京藝術大学	P30		

大学共同利用機関法人

(11機関) P32～

26 人間文化研究機構事務局	P32	32 高エネルギー加速器研究機構	P33
27 国立歴史民俗博物館	P32	33 情報・システム研究機構	P33
28 国文学研究資料館	P32	34 国立極地研究所	P33
29 国立国語研究所	P32	35 国立情報学研究所	P33
30 自然科学研究機構事務局	P33	36 統計数理研究所	P34
31 国立天文台	P33		



独立行政法人

(19機関) P34～

37	国立特別支援教育総合研究所	P34	47	東京国立近代美術館	P35
38	大学入試センター	P34	48	国立映画アーカイブ	P35
39	国立青少年教育振興機構	P34	49	国立西洋美術館	P35
40	国立赤城青少年交流の家	P34	50	国立新美術館	P35
41	国立妙高青少年自然の家	P34	51	東京国立博物館	P36
42	国立信州高遠青少年自然の家	P35	52	東京文化財研究所	P36
43	国立女性教育会館	P35	53	皇居三の丸尚蔵館	P36
44	国立科学博物館	P35	54	教職員支援機構	P36
45	物質・材料研究機構	P35	55	大学改革支援・学位授与機構	P36
46	防災科学技術研究所	P35			

独立行政法人 国立高等専門学校機構

(8機関) P36～

56	国立高等専門学校機構本部事務局	P36
57	茨城工業高等専門学校	P37
58	小山工業高等専門学校	P37
59	群馬工業高等専門学校	P37
60	木更津工業高等専門学校	P37
61	東京工業高等専門学校	P37
62	長岡工業高等専門学校	P37
63	長野工業高等専門学校	P38

特別な学校法人

(1機関) P38

64	放送大学学園	P38
----	--------	-----

各機関の紹介

関東甲信越地区の全64機関の紹介です。
求める人物像やメッセージも掲載していますので、
ぜひ、参考にしてください。
(職員数はR7.5.1現在)

- 国立大学法人
- 大学共同利用機関法人
- 独立行政法人
- 独立行政法人 国立高等専門学校機構
- 特別な学校法人



1

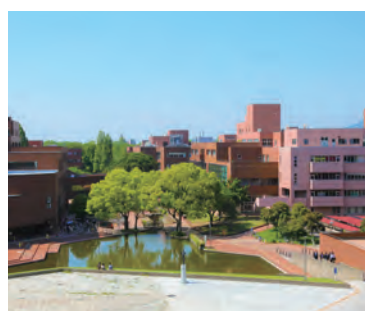


国立大学法人 茨城大学

**学生が活気にあふれ、教職員がやる気に満ち、地域が元気になる、
ダイバーシティを活かした大学に**

茨城大学は、1949年5月に開学した75年以上の歴史をもつ総合大学です。知の拠点として地域社会と協力し、学生がたくましく育つ大学、世界で特色が輝く大学をめざします。
本学では、若い皆さんの感性による柔軟な発想、チャレンジ精神、向上心を活かした大胆な行動力を期待しています。新しい時代の大学として変化を続ける茨城大学を支えていきたいという志のある方を求めています。

■ 〒310-8512
茨城県水戸市文京2丁目1番1号
■ 総務部人事労務課(採用担当)
☎ 029-228-8014
■ 全教職員数(常勤)834名
(うち 事務職員220名、
図書職員7名、技術職員39名)



2



国立大学法人 筑波大学

**【IMAGINE THE FUTURE.】
～私たちと一緒に未来を創造していきましょう！**

筑波大学は、研究学園都市筑波の地で、常に創造的な挑戦を続ける「未来構想大学」として、国境や機関などあらゆる壁を越える「トランスポーター大学」への飛躍を目指して改革を続けています。
本学が様々な分野で新しい挑戦や改革を進めていくためには、新しい感性を持ったみなさんの力が不可欠です。「未来のフロントランナー」筑波大学で、あなたの力を発揮してみませんか。

■ 〒305-8577
茨城県つくば市天王台1-1-1
■ 総務部人事課(事務系任用)
☎ 029-853-2090・2091
■ 全教職員数(常勤)5,504名
(うち 事務職員1,142名、
図書職員48名、技術職員260名)



3



国立大学法人 筑波技術大学

**日本でただ一つのきこえない・きこえにくい人、
みえない・みえにくい人のための国立大学**

筑波技術大学は、聴覚障害者と視覚障害者のためのわが国唯一の高等教育機関として1987年に設立された大学であり、令和7年4月に設置された共生社会創成学部を含む3学部で構成されています。
本学職員に特別な能力は必要ありません。社会人としての基本的能力や変化に対応できる柔軟性に加え、自立した学生を社会に送り出すためのサポートができる方をお待ちしています。

■ 〒305-8520
茨城県つくば市天久保4-3-15
■ 大学戦略課人事係
☎ 029-858-9308・9309
■ 全教職員数(常勤)170名
(うち 事務職員49名、
図書職員2名、技術職員10名)



4



国立大学法人 宇都宮大学

学生に近く、地域に深く。宇都宮大学は、“支える力”を求めています。

宇都宮大学は、「地域とともに学生の未来をつくり、学生とともに地域の未来をつくる」というスローガンのもと、学生を大切に、地域と手を取り合いながら、さまざまな挑戦を続けています。
私たちは、地域に根差し、地域に信頼され、学生に選ばれ続ける大学であるために、日々進化を重ねています。本学の想いに共感し、ともに未来を支えてくださる方との出会いを、心からお待ちしています。

■ 〒321-8505
栃木県宇都宮市峰町350
■ 企画総務部人事課人事総括係
☎ 028-649-5022
■ 全教職員数(常勤)628名
(うち 事務職員152名、
図書職員2名、技術職員52名)



5



国立大学法人 群馬大学

群を抜け 駆ける世界を

群馬大学は、4学部、8大学院のほか、医学部附属病院、生体調節研究所、重粒子線医学推進機構などを擁する北関東を代表する総合大学です。教員、技術職員、事務職員が丸となって成果を生み出すためには、事務職員は支援者ではなく、牽引者でなければなりません。情熱とチャレンジ精神を持って仕事に取り組み、より良い群馬大学を目指していける方と一緒に仕事ができることを楽しみにしています。

■ 〒371-8510
群馬県前橋市荒牧町四丁目2番地
■ 総務部人事労務課人事企画係
☎ 027-220-7024・7025
■ 全教職員数(常勤)2,435名
(うち 事務職員347名、
図書職員5名、技術職員66名)





6



国立大学法人 埼玉大学

働きやすさもやりがいもギュッと詰まって All in One

埼玉大学は、文系、理系、教員養成系の多様な学部・研究科を兼ね備え、日本人、外国人、社会人といった多様な学生と教職員が1つのキャンパスに集まっています。この特性を最大限に活かし、人材育成や研究活動等の様々な面で文理融合を推進し、現代が抱える課題の解決を図っています。役教職員が顔の見える環境で一丸となって働ける協調性や柔軟な発想力のある方を求めています。未来の埼玉大学を共に創っていきましょう！

■〒338-8570
埼玉県さいたま市桜区下久保
255
■総務部人事課人事第一係
☎ 048-858-3009
■全教職員数(常勤) 741名
(うち 事務職員 172名、
図書職員3名、技術職員44名)



7



国立大学法人 千葉大学

つねに、より高きものをめざして

千葉大学では、グローバル人材育成プラン「ENGINE」の下、令和2年から全学生に留学を必修化しています。また令和7年4月には新たに「YOKOTE VISION」を策定し、全職員・学生が一丸となって、その実現に向け取り組んでいます。
「つねに、より高きものをめざして」という理念の下、未来志向型大学としてたゆみない挑戦を続ける千葉大学で、あなたも活躍してみませんか？

■〒263-8522
千葉県千葉市稲毛区弥生町1-33
■総務部人事課人材戦略係
☎ 043-290-2028
■全教職員数(常勤) 3,662名
(うち 事務職員 654名、
図書職員 16名、技術職員 123名)



8



国立大学法人 東京大学

創りたい未来がある。語りたい使命がある。

東京大学は、世界の公共性に奉仕する総合大学として、「優れた多様な人材の輩出」と「地球規模の課題解決」に取り組んでおり、新たな大学モデルの構築に向けて教職協働で改革を行っています。より良い未来社会の創造に向け、職員一人ひとりの力が東大を動かします。多様な構成員と協働しながら、柔軟な姿勢で業務改革に意欲的に取り組めるみなさんをお待ちしております！

■〒113-8654
東京都文京区本郷7-3-1
■本部人材育成課職員採用・研修
チーム
☎ 03-5841-2317・1975
■全教職員数(常勤) 8,324名
(うち 事務職員 1,511名、
図書職員 145名、技術職員 556名)



9



国立大学法人 東京科学大学

科学の進歩と、人々の幸せと。

東京科学大学は、それぞれに歴史を持つ東京医科歯科大学と東京工業大学が統合して、2024年10月に誕生した国立大学です。
「『科学の進歩』と『人々の幸せ』とを探究し、社会とともに新たな価値を創造する」をMissionに掲げ、両大学の伝統と先進性を生かしながら教職員一丸となり、どの大学もなしえなかった新しい大学の在り方を創出していきます。

■〒152-8550
東京都目黒区大岡山2-12-1
■人事部人材育成課採用担当
✉ recruitment@adm.isct.ac.jp
☎ 03-5734-2052
■全教職員数(常勤) 4,960名
(うち 事務職員 1,250名、
技術職員 137名)



10



国立大学法人 東京外国語大学

多様性を力に変え、多文化共生に寄与する

外国の言語とそれを基底とする文化や社会問題についての教育・研究を通じて、日本と世界諸地域を結ぶ取り組みを行っています。小規模ながらも国際色豊かな本学は、幅広い業務経験や語学研修の機会に富み、一人一人が大きく飛躍できる可能性に満ちています。世界各地からの学生とともに成長する喜びと一緒に感じてみませんか？好奇心・チャレンジ精神旺盛な方のご応募をお待ちしています！

■〒183-8534
東京都府中市朝日町3-11-1
■総務企画部人事労務課人事労
務係
☎ 042-330-5127
■全教職員数(常勤) 390名
(うち 事務職員 100名、
図書職員7名、技術職員5名)



11



国立大学法人 東京学芸大学

『教育の総合大学』～教員養成系大学・学部の中核的役割を担う～

本学は、高い知識と教養を備えた創造力・実践力に富む有為の教育者を養成することを目的とし、学校教育とその周囲を支える教育マインドをもった人材を育成する「教育の総合大学」を目指しています。
本学の使命である教育者養成は、未来を担う子どもを育てる人材を育てるという非常にやりがいのある仕事です。私たちと一緒に教員と協働しながら、大学や学生の更なる成長を支えていきましょう。

■〒184-8501
東京都小金井市貫井北町4-1-1
■総務部人事課人事係
☎ 042-329-7124
■全教職員数(常勤) 842名
(うち 事務職員 195名、
図書職員9名、技術職員16名)





12 TUAT 国立大学法人 東京農工大学

地球をまわす 世界第一線の研究大学へ
人とかがやく Flourishing Together

東京農工大学は農学、工学及びその融合領域における教育研究を通じて世界トップレベルの大学を目指し、全員で改革に臨む活気溢れる大学です。誰でも大学づくりに参加できる本学では、社会・世界を見据えた、意義ある仕事に取り組むことができます。武蔵野に位置する、自然と造形にあふれた職場で、皆さんの持つ可能性、力を存分に発揮して、世界を舞台に活躍する大学を一緒に創り上げていきませんか。

■〒183-8538
東京都府中市晴見町3-8-1
■総務部人事課任用係
☎ 042-367-5509
■全教職員数(常勤)639名
(うち 事務職員182名、
図書職員6名、技術職員42名)



13 国立大学法人 東京藝術大学

アートの力で社会に大きな貢献を果たす

東京藝術大学は世界にも類を見ない総合芸術大学です。本学は、次代の芸術家の育成や我が国の芸術文化の発展について指導的役割を果たすことが求められていますが、大学を取り巻く環境が大きく変化し、新たな課題も増えています。その課題を一緒に解決することのできる、若い力を求めています。本学では、各種研修のほか学生の研修旅行に同行し奈良・京都の古美術を学ぶプログラムも実施しています。

■〒110-8714
東京都台東区上野公園12-8
■人事労務課人事係
☎ 050-5525-2016
■全教職員数(常勤)490名
(うち 事務職員154名、
図書職員12名、技術職員9名)



14 国立大学法人 東京海洋大学

我が国唯一の海洋系総合大学として、
世界最高水準の卓越した大学を目指す

東京海洋大学は、東京商船大学と東京水産大学が統合して誕生した、140年を越える長い歴史と格式の高い伝統を有する我が国唯一の海洋系総合大学です。

小規模大学の本学では教育・研究を支える職員の役割は重要で、様々な場面で活躍する機会があります。今後は更に国際化・高度化の要請に応えるため多様な人材育成の推進を図っており、一緒に大学を創る力を求めています。

■〒108-8477
東京都港区港南4-5-7
■総務部人事課任用・給与係
☎ 03-5463-0356
■全教職員数(常勤)473名
(うち 事務職員138名、
図書職員7名、
技術職員87名(船員含む))



15 国立大学法人 お茶の水女子大学

お茶の水女子大学は、学ぶ意欲のあるすべての女性にとって、
真摯な夢の実現される場として存在する

お茶の水女子大学は、日本最初的女子高等教育機関として1875年に開校され、以来、女子最高学府としての使命を担っており、現在もわが国と世界の未来を担う女性の育成に取り組んでいます。また、男女共同参画もいち早く手がけ、教職員の半数以上が女性です。そのほか、早出遅出勤務制度や在宅勤務制度など職員の働きやすい環境の整備も進んでいます。

■〒112-8610
東京都文京区大塚2丁目1番1号
■人事労務課人事担当
☎ 03-5978-5109
■全教職員数(常勤)474名
(うち 事務職員93名、
図書職員10名、技術職員9名)



16 UEC 国立大学法人 電気通信大学

～私たちが思い描くSociety 5.0、
すなわち「共創進化スマート社会」の実現に向けて～

本学ではきたる未来社会(Society 5.0)を「共創進化スマート社会」と定義し、その実現に向けて、最先端科学・技術の教育と研究を加速させています。京王線調布駅徒歩5分に位置し、緑豊かな恵まれたキャンパスです。私達と一緒に学生、教員を支え大学の未来に向けて活躍して下さる方をお待ちしております！

■〒182-8585
東京都調布市調布ヶ丘1-5-1
■総務部人事労務課人事企画係
☎ 042-443-5021
■全教職員数(常勤)540名
(うち 事務職員120名、
図書職員5名、技術職員13名)



17 国立大学法人 一橋大学

組織を創り、組織を変える当事者

変化の波が押し寄せる今、ただ前例をなぞるだけでは未来は切り拓けません。「誰かが変える」のを待つのではなく、「自分が動く」と決意し、仲間を巻き込み、組織を動かす。—— そんな情熱と行動力を持つ人を、一橋大学は心から求めています。

■〒186-8601
東京都国立市中2-1
■総務部人事課人事係
☎ 042-580-8023
■全教職員数(常勤)735名
(うち 事務職員265名、
図書職員20名、技術職員5名)





18



国立大学法人 政策研究大学院大学

Gateway to Global Leadership 国際的な政策研究・教育の拠点

政策及び政策の革新にかかわる研究と教育を通して、我が国及び世界の民主的統治と高度化に貢献するというビジョンのもと、政策に関する研究・教育の両面において卓越した拠点となることを目指す大学院大学です。職員はフレックスタイム制をとっており働きやすい職場です。積極性・柔軟性・創造力をバランス良く備えた人材を求めています。一緒に大学を作っていきましょう！

■〒106-8677
東京都港区六本木7-22-1
■組織マネジメント課人事室
☎ 03-6439-6019
■全教職員数(常勤)151名
(うち 事務職員75名、
図書職員4名)



19



国立大学法人 横浜国立大学

知の統合型大学として、世界水準の研究大学を目指して

本学は、現実の社会との関わりを重視する「実践性」、新しい試みを意欲的に推進する「先進性」、社会に大きく門戸を開く「開放性」、海外との交流を促進する「国際性」を建学から培われた精神として掲げ、一人一人の在り方を尊重し合う「多様性」を重んじ、世界の学術研究と教育に重要な地歩を築くべく、努力を重ねることを宣言しています。世界水準の研究大学を共に築いていきましょう。

■〒240-8501
神奈川県横浜市保土ヶ谷区常盤
台79番1号
■総務企画部人事・労務課任用係
☎ 045-339-3022
■全教職員数(常勤)1,001名
(うち 事務職員245名、
図書職員9名、技術職員47名)



20



国立大学法人 総合研究大学院大学

世界トップレベルの研究機関で 次世代を担う博士研究者を育成しています

本学は、大学共同利用機関等が有する豊富な人材と研究環境を活用し、次世代を担う研究者を養成することを目的に設立された、日本初の博士課程だけの大学院大学です。各機関と緊密に係保・協力しながら大学運営を担う葉山本部の事務局は小規模な組織のため、早いうちから様々なことにチャレンジできます。「研究者人材の育成に貢献したい」という志のある方のご応募をお待ちしております。

■〒240-0193
神奈川県三浦郡葉山町
(湘南国際村)
■総務課人事係
☎ 046-858-1510
■全教職員数(常勤)55名
(うち 事務職員40名、
図書職員1名)



21



国立大学法人 新潟大学

私が支えたい大学は、新潟を支えている

新潟大学は自律と創生を理念とし、未来のライフ・イノベーションのフロントランナーとなることを使命としています。この使命の達成のため、本学では組織運営に意欲を持ち、主体的に業務に取り組む方をお待ちしております。周囲との協働や多様な業務経験により自己を高められることも大規模総合大学である本学で働く魅力の一つです。自然きらめくキャンパスで、あなたの力を発揮してみませんか？

■〒950-2181
新潟県新潟市西区五十嵐2の町
8050番地
■総務部人事企画課人事係
☎ 025-262-7615
■全教職員数(常勤)3,272名
(うち 事務職員412名、
図書職員15名、技術職員112名)



22



国立大学法人 長岡技術科学大学

独創を、発展へ。 ”技学”を先導し、持続可能な社会の実現に貢献する

長岡技術科学大学は、2026年に創立50周年を迎えます。
本学では、未来社会で持続的に貢献する実践的・創造的能力と奉仕の志を備えた指導的技術者を養成することを理念とし、地域社会及びグローバル社会に不可欠な大学を目指しています。教職員の距離が近く、若手職員も企画・運営に参画して各々の力を発揮しています。本学をより良い大学にしていく熱意を有する方をお待ちしております。

■〒940-2188
新潟県長岡市上高岡町1603-1
■総務課人事労務室人事係
☎ 0258-47-9205
■全教職員数(常勤)376名
(うち 事務職員135名、
図書職員3名、技術職員32名)



23



国立大学法人 上越教育大学

ぜったい先生になりたい人と先生のための大学！

上越教育大学は、初等教育教員の養成と教員の更なる資質能力の向上を主目的とした教育大学です。小規模な大学のため、教職員間の距離が近く、アットホームで和やかな雰囲気職場です。①コミュニケーションを大切に、②意欲的に業務に取り組む③明るく元気な方を求めています。『未来を担う子ども達のための教員を育てる』上越教育大学を私たちと一緒に更に素晴らしい大学にしていきたいと思います。

■〒943-8512
新潟県上越市山屋敷町1番地
■人事課人事・労務チーム
☎ 025-521-3217・3218
■全教職員数(常勤)275名
(うち 事務職員95名、
図書職員4名、技術職員7名)





24

国立大学法人
山梨大学

地域の中核、世界の人材

山梨大学は教育・医・工・生命環境の4つの学部と大学院からなる、山梨県唯一の国立大学で、専門分野に特化したセンター等での先端的な研究活動を行っています。組織が小規模な分、意思決定が早く、組織の隅々まで活性化している元気のある大学です。若手職員も協働して企画にかかわり、それぞれの力を発揮しています。山梨大学の未来をともに創っていきましょう。

■〒400-8510
山梨県甲府市武田4-4-37
■人事部人事課任用・勤務グループ
☎ 055-220-8742・8008
■全教職員数(常勤)2,374名
(うち 事務職員265名、
図書職員8名、技術職員71名)



25

国立大学法人
信州大学

信州の「知の森」を、ともに

緑豊かな信州に5つのキャンパスを有す信州大学は、地域社会や産業界と連動した活動を積極的にを行い、地域貢献度ランキングでは常に上位に。アクア・リジェネレーション機構の始動で「水」を研究の核とし、信州・日本・世界の広範な視野での地域発展を見据え、地球環境の再生を牽引するグローバル拠点を目指します。信州大学を愛し、大学のステップアップにご尽力いただける方をお待ちしています。

■〒390-8621
長野県松本市旭3-1-1
■総務部人事課人事総務グループ
☎ 0263-37-2041
■全教職員数(常勤)2,765名
(うち 事務職員451名、
図書職員24名、技術職員82名)



26

大学共同利用機関法人
人間文化研究機構事務局人間文化の総合的学術研究の国際的拠点へ
—「多様で一体」をスローガンに—

研究者の自由な発想による先端的な研究活動には、機構を運営し、研究を支援する事務・技術職員の存在が欠かせません。人文機構本部事務局では、機構全体の総務、広報、法人評価、研究支援、財務及び施設等の業務を行うとともに、機構を構成する6機関の総括・調整を行っています。6機関の架け橋として、「多様で一体」をスローガンとする本機構の一員として、あなたの能力を発揮してみませんか。

■〒105-0001
東京都港区虎ノ門4-3-13
ヒューリック神谷町ビル2階
■総務課人事係
☎ 03-6402-9215
■全教職員数(常勤)60名
(うち 事務職員26名、
技術職員3名)



27

大学共同利用機関法人人間文化研究機構
国立歴史民俗博物館日本の歴史文化知のための
オープンサイエンス研究基盤の構築を目指して!

国立歴史民俗博物館(歴博)は、大学共同利用機関として、文献史学・考古学・民俗学および自然科学を含む関連諸科学の協業によって、大学をはじめとする国内外の研究者とともに、学際的で先進的な研究を推進しています。また、国立で唯一の歴史民俗系博物館として、「博物館型研究統合」の理念のもと、総合展示や企画展示の開催により、収集した貴重な資料及び研究成果を広く一般に公開しています。

■〒285-8502
千葉県佐倉市城内町117
■管理部総務課人事係
☎ 043-486-6472
■全教職員数(常勤)91名
(うち 事務職員41名、
技術職員4名)



28

大学共同利用機関法人人間文化研究機構
国文学研究資料館

世界でトップの日本文学研究拠点

国文研は、日本文学に関する文献等資料の調査研究、収集、整理、保存等を行っており、集積した資料は国内外の研究者及び利用者の方々に提供しています。また、大規模画像データベースの公開・管理、展示、講演会、シンポジウム等様々な事業を行うほか、大学院教育にも携わっています。

当館は仕事に積極的に取り組む意欲のある方をお待ちしています。

■〒190-0014
東京都立川市緑町10-3
■管理部総務課人事係
☎ 050-5533-2908・2909
■全教職員数(常勤)72名
(うち 事務職員30名、
図書職員12名、技術職員3名)



29

大学共同利用機関法人人間文化研究機構
国立国語研究所「コトバ」を研究し、豊かな社会づくりに貢献する
～日本語の研究推進・情報発信～

国語研は、日本語学・言語学・日本語教育研究の国際的・中核的拠点として、日本語の特質を解明しようとしている研究所です。世界中の言語の一つとしての日本語研究を通して、日本語を未来へ継承・発展させていこうとしています。そのために国内外の研究者と共同研究を実施し、研究成果を学術資料やデータベース等で広く提供しています。あなたも「コトバ」を未来につなぐ仕事に携わってみませんか。

■〒190-8561
東京都立川市緑町10-2
■管理部総務課人事係
☎ 042-540-4373
■全教職員数(常勤)61名
(うち 事務職員22名、
図書職員2名、技術職員6名)





30 NINS 大学共同利用機関法人 自然科学研究機構事務局

～宇宙・生命・物質・エネルギー～ 最先端の自然科学研究分野を牽引！

自然科学研究機構(NINS)には、5つの大学共同利用機関(国立天文台、核融合科学研究所、基礎生物学研究所、生理学研究所、分子科学研究所)があり、最先端の自然科学研究分野を牽引し、各分野とその垣根を越えた共同利用・共同研究の促進と、国際共同研究拠点としての中核を担っています。幅広い視野を持ち、時代や社会の変化に柔軟に対応できる方、ぜひその力を発揮してみませんか。

■〒105-0001
東京都港区虎ノ門4-3-13
ヒューリック神谷町ビル2階
■事務局人事労務課人事給与係
☎ 03-5425-2035
■全職員数(常勤)36名
(うち 事務職員36名)



31 NAOJ 大学共同利用機関法人 自然科学研究機構 国立天文台

はらかな時と膨大な距離を超え届く宇宙からのメッセージ

国立天文台は、すばる望遠鏡やアルマ望遠鏡を筆頭に、世界最先端の観測装置を有する天文学のナショナルセンターです。大学共同利用機関として、観測・研究・開発を推進し、国内に留まらず、国際協力のもと天文学および関連分野の発展のために活動しています。天文学の専門知識は問いません。これら活動を支え導く職員として、みなさんの持つ積極性、柔軟な発想と広い視野を活かしてみませんか。

■〒181-8588
東京都三鷹市大沢2丁目21番1号
■事務部総務課人事係
☎ 0422-34-3657
■全教職員数(常勤)393名
(うち 事務職員57名、
図書職員1名、技術職員36名)



32 大学共同利用機関法人 高エネルギー加速器研究機構

加速器だから見える世界。—宇宙・物質・生命の謎を解く—

高エネルギー加速器研究機構(KEK)は、最先端の大型粒子加速器を用いた加速器科学の総合的発展の拠点として、宇宙の起源、物質や生命の根源の探求を目指す研究所です。1971年に大学共同利用機関第一号として設立以来、約50年にわたり国内外の研究者に対して研究の場を提供し、基礎科学を推進しています。あなたも最先端の研究所で世界に誇れる仕事をしていませんか。

■〒305-0801
茨城県つくば市大穂1-1
■総務部人事・職員課人事第二係
☎ 029-864-5117
■全教職員数(常勤)604名
(うち 事務職員163名、
技術職員138名)



33 大学共同利用機関法人 情報・システム研究機構

あなたの支える研究が世界を変える

情報・システム研究機構は、生命・地球・環境・社会などに関わる複雑な問題を情報とシステムという観点からとらえ、実験や観測による大量情報の生成、データベース構築、さらにそこからの知識の抽出と活用に関する研究を行うとともに、その研究基盤を大学等の研究者に提供・支援します。日本全体の学術研究を推進すること、それを目指して、日々、真剣に仕事に励む人達がいます。

■〒105-0001
東京都港区虎ノ門4-3-13
ヒューリック神谷町ビル2階
■本部事務局総務課人事・労務係
☎ 03-6402-6209
■全教職員数(常勤)53名
(うち 事務職員42名、
技術職員2名)

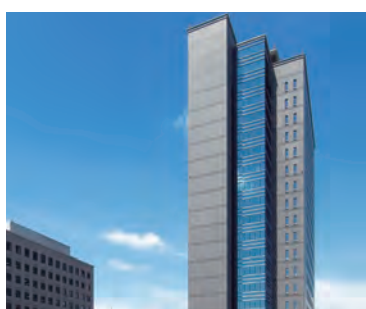


34 大学共同利用機関法人情報・システム研究機構 国立極地研究所

極地観測と極域科学研究を総合的に行う日本唯一の研究機関

国立極地研究所は、極地に関する科学の総合研究と極地観測を行うことを目的に1973年に設置された大学共同利用機関です。南極・北極に有する観測基地におけるフィールド観測を基盤に、資・試料の分析、データ解析、モデリングを通じ地球科学、環境科学、太陽系地球科学、宇宙・惑星科学、生物科学などを包括した先進的総合地球システム科学を共同研究として推進しています。

■〒190-8518
東京都立川市緑町10-3
■情報・システム研究機構
本部事務局総務課人事・労務係
☎ 03-6402-6209
■全教職員数(常勤)164名
(うち 事務職員55名、
図書職員1名、技術職員32名)



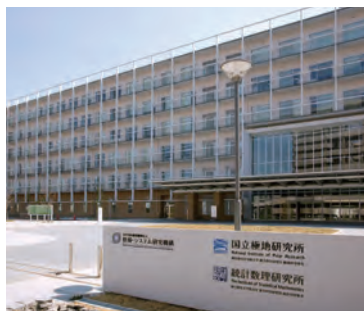
35 NII 大学共同利用機関法人情報・システム研究機構 国立情報学研究所

人と社会をつなぐ情報学—
活気あふれる若い力が見つめているのは情報社会の未来です。

国立情報学研究所(NII)は日本で唯一の情報学の学術総合研究所として、長期的な視点に立つ基礎研究から社会課題の解決を目指した実践的研究まで、総合的に研究を推進しています。同時に、大学共同利用機関として、学術コミュニティ全体の研究・教育活動に必須となる最先端の学術情報基盤や学術コンテンツ、および、サービスの提供といった事業を展開しています。

■〒101-8430
東京都千代田区一ツ橋2-1-2
学術総合センタービル
■情報・システム研究機構
本部事務局総務課人事・労務係
☎ 03-6402-6209
■全教職員数(常勤)335名
(うち 事務職員96名、
図書職員14名、技術職員48名)





36



大学共同利用機関法人情報・システム研究機構 統計数理研究所

知を結ぶ最先端科学「統計数理」に関する日本唯一の研究教育機関

統計数理研究所は、昭和19年に設立されて以来、日本における統計数理研究の中心的な機関として役割を果たしてきました。統計数理とは、データをもとに数理を道具として、合理的予測の実現を目的に、散在・偏在している様々な知識を「つなぐ」方法を研究する学問です。この特性を活かし、研究者、大学、産業と学術をつなぎ、学術と一般社会をつなぐことで、社会に貢献したいと考えています。

■〒190-8562
東京都立川市緑町10-3
■情報・システム研究機構
本部事務局総務課人事・労務係
☎ 03-6402-6209
■全教職員数(常勤)107名
(うち 事務職員17名、
図書館職員2名、技術職員8名)



37



独立行政法人 国立特別支援教育総合研究所

障害のある子ども一人一人のニーズに対応した教育の実現に貢献します

本研究所は、我が国唯一の特別支援教育のナショナルセンターです。特別支援教育に関する研究活動、教職員への研修事業、情報の収集・発信などの事業を行っています。事務職員は、総務、人事、会計、評価、研修事業の実施など、幅広い業務に携わります。特別支援教育に関する知識がなくても大丈夫です。障害のある子どもたちの未来のために貢献する意欲がある方をお待ちしています！

■〒239-8585
神奈川県横須賀市野比5-1-1
■総務部総務企画課人事係
☎ 046-839-6925
■全教職員数(常勤)75名
(うち 事務職員36名)



38



独立行政法人 大学入試センター

志願者数は約49万人。日本で唯一の大規模試験を実施・運営しています。

本センターは、「大学入学共通テストに関する業務等を行うことにより、大学入学者の選抜の改善を図り、もって大学及び高等学校等における教育の振興に資する」ことを目的としている日本で唯一の機関です。志願者数約49万人の大学入学共通テスト(旧:大学入試センター試験)の実施と運営のため、私たちと一緒に情熱をもって取り組んでいただける方を文系・理系問わず求めています。

■〒153-8501
東京都目黒区駒場2-19-23
■総務部総務課人事・人材係
☎ 03-5478-1215
■全職員数(常勤)110名
(うち 事務職員96名)



39



独立行政法人 国立青少年教育振興機構

誰一人取り残すことなく、全ての子どもたちに良質な体験を提供します

当機構は「体験活動を通じた青少年の自立」という目的を掲げ、平成18年4月に発足しました。青少年教育のナショナルセンターとして、全国28の教育施設にて特色のある活動を展開し、青少年教育の振興及び青少年の健全育成を図ることを目指しています。

我が国の青少年教育をリードする気概を持ち、課題意識に基づく向上心とチャレンジ精神を持って何事にも取り組める職員を求めています。

■〒151-0052
東京都渋谷区代々木神園町3番1号
■総務部人事課人事企画係
☎ 03-6407-7643
■全職員数(常勤)452名
(うち 事務職員448名、
技術職員4名)



40



独立行政法人国立青少年教育振興機構 国立赤城青少年交流の家

本物体験 学びの宝庫

当施設は、赤城山南麓の標高530メートルに位置し、四季を通じて豊かな自然環境に恵まれ、体験と交流の場を提供することにより、共に学びあえる施設づくりに努めています。赤城山の自然環境を活用した体験活動や研修活動をとおり、「青少年の自立」と「体験活動の普及」を目指します。

子供たちを身近に感じられる当施設で、私たちと一緒に研修活動をサポートしていきましょう。

■〒371-0101
群馬県前橋市富士見町赤城山27
■総務係
☎ 027-289-7203
■全職員数(常勤)16名
(うち 事務職員16名)



41



独立行政法人国立青少年教育振興機構 国立妙高青少年自然の家

豊かな体験活動を妙高で!!

当施設は、美しく雄大な妙高山の山麓に位置し、緑があふれるグリーンシーズン、豊富な雪のホワイトシーズンに、それぞれの自然の恵みを活かし、盛りだくさんの魅力ある体験活動を青少年に提供しています。

私たち職員は「チーム妙高」として、地域の皆様と一緒に、高い誇りをもって業務に当たっています。次世代を担う子供たちの自立のために、ぜひ私たちと一緒に働いてみませんか。

■〒949-2235
新潟県妙高市大字関山6323-2
■総務係
☎ 0255-82-4324
■全職員数(常勤)13名
(うち 事務職員13名)





42



独立行政法人国立青少年教育振興機構

国立信州高遠青少年自然の家

「自然の豊かさを 見つけよう 考えよう 味わおう 楽しもう」

当施設は、壮大な南アルプスと中央アルプスの秀峰を望み、タカトコヒガンザクラと城下町で知られる伊那市高遠町の晴ヶ峰高原に所在しています。青少年をはじめとする施設利用者に対して、日常の生活では体験することができない非日常的な感動体験を通して、青少年の自立と体験活動の普及に取り組んでいます。

■〒396-0301
長野県伊那市高遠町藤沢
6877-11
■総務係
☎ 0265-96-2528
■全職員数(常勤)12名
(うち 事務職員12名)



43



独立行政法人

国立女性教育会館

男女共同参画に関する課題解決をリードする
国内唯一のナショナルセンターです

当会館は、男女共同参画社会の実現という日本の重要な課題の解決に向け、研修・情報・調査研究等の事業を展開しています。令和8年4月には機能を強化・拡充し、内閣府主管の「独立行政法人男女共同参画機構」という新法人となります。ジェンダー・ギャップ指数2025において日本は148か国中118位と未だ道半ばです。男女共同参画社会の実現に向けて、私たちと一緒に働いてみませんか。

■〒355-0292
埼玉県比企郡嵐山町菅谷728
■総務課人事・企画係
☎ 0493-62-6719
■全職員数(常勤)24名
(うち 事務職員18名、
図書職員6名)



44



独立行政法人

国立科学博物館

1877年に創立された、自然史・科学技術史に関する
国立唯一の総合科学博物館

国立科学博物館は、自然科学及び社会教育の振興を図ることを目的として上野本館、筑波実験植物園、附属自然教育園を設置しています。事務職員は、総務・財務・研究支援などを担う管理部門、展示・学習支援・企業地域連携などを担う事業部門があり、幅広い業務に携わっています。シンボルマークのキャッチコピーである「想像力の入り口」となるべく、私たちと一緒に新しい科博を創っていきましょう。

■〒110-8718
東京都台東区上野公園7-20
■経営管理部総務課
人事・労務担当
☎ 03-5814-9816
■全職員数(常勤)138名
(うち 事務職員79名、
技術職員1名)



45



国立研究開発法人

物質・材料研究機構

材料で、世界を変える

人類の発展と共に進歩する材料。地球規模の環境・資源問題の解決手段の一つとしても注目されています。NIMSはNIMSビジョン「材料で、世界を変える」を掲げ、物質・材料の進化と革新を先導し、未来社会を豊かにします。研究機関の運営や環境作りを行う事務職の仕事を通じ、研究と社会還元と一緒に貢献しませんか。多様な業務の中であなたに相応しいキャリアを見つけてください。

■〒305-0047
茨城県つくば市千現1-2-1
■人事・総務部門人事室
☎ 029-859-2472/2125
■全職員数(常勤)563名
(うち 事務職員114名、
技術職員79名)



46



国立研究開発法人

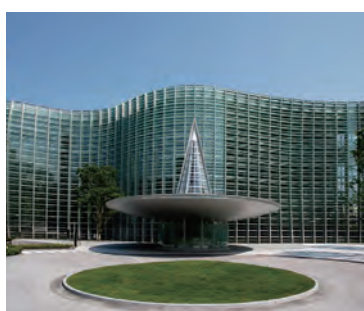
防災科学技術研究所

生きる、を支える科学技術 SCIENCE FOR RESILIENCE

防災科研では、災害に強い社会の実現を目指し、研究者とともに歩む事務職・技術職の仲間を求めています。

私たちの仕事は、社会の安全や安心につながる大切な役割です。研究現場を支えるだけでなく、自らも課題解決に向けて主体的に取り組む姿勢が求められます。防災科学技術の発展に貢献することに誇りを持ち、現場のニーズに応える意欲ある方を歓迎します。

■〒305-0006
茨城県つくば市天王台3-1
■総務部人事課
☎ 029-851-1611
■全職員数(常勤)348名
(うち 事務職員190名)



独立行政法人 国立美術館

47 東京国立近代美術館

48 国立映画アーカイブ

49 国立西洋美術館

50 国立新美術館

あらゆる人に開かれた美術館を目指して…

国立美術館は、我が国の美術振興の中心的拠点として、国内外の美術作品等を収集・保管・展示し、文化芸術の多様な価値を生かした社会づくりに向けて、館ごとに個性豊かで多彩な活動を展開しています。採用後は、総務・人事・財務・会計、渉外・広報などの業務に携わり、国立美術館の管理・運営の様々な角度へ活躍の場を拡げることができます。

■〒102-8322
東京都千代田区北の丸公園3-1
■独立行政法人国立美術館
本部事務局人事担当係
(東京国立近代美術館
運営管理部門人事担当係)
☎ 03-3214-2583
(ダイヤルイン)
■全教職員数(常勤)160名
(うち 事務職員86名、
技術職員1名)





51

 東京国立博物館
TOKYO NATIONAL MUSEUM
独立行政法人国立文化財機構
東京国立博物館

日本の伝統と文化を未来へ、そして世界へ伝えたい

東京国立博物館は1872年(明治5年)に創設された日本初の博物館です。日本と東洋の美術・考古遺物を収集・保存・展示するほか、多くの方々にその美と文化、そして博物館に親しんでいただく機会の提供に努めています。

事務職員は、総務・人事・経理等他の国立大学法人等と同様の業務だけではなく、展示やイベント等に係わる博物館ならではの業務に就くこともあります。

■千110-8712
東京都台東区上野公園13-9
■本部事務局総務企画課
(人事担当)
☎ 03-3822-1111
■全職員数(常勤)154名
(うち 事務職員59名、
技術職員8名)



52

 東京文化財研究所
Tokyo Cultural Property Research Institute
独立行政法人国立文化財機構
東京文化財研究所基礎的・実践的な調査研究による、
有形・無形の文化財の保存・修復・公開へ

東京文化財研究所は、国の文化財全般の調査研究や保存修復、文化遺産保護の国際協力を行う研究所です。1952(昭和27)年の創設以来、有形・無形文化財の基礎的・先端的な調査研究を進め、文化財保護行政を支える役割を果たしてきました。

当研究所は小規模ながら精鋭の職員を配し、日々の業務にあたっています。総務・会計・国際協力事業などの企画渉外等の業務があります。

■千110-8713
東京都台東区上野公園13-43
研究支援推進部管理課総務係
☎ 03-3823-2244
■全職員数(常勤)41名
(うち 事務職員6名、
技術職員1名)



53

皇居三の丸尚蔵館

独立行政法人国立文化財機構
皇居三の丸尚蔵館

皇室から受け継いだ貴重な品々を大切に守り伝える

皇居三の丸尚蔵館は、皇室に代々受け継がれた美術品を保存・調査研究・公開するため、宮内庁が1993(平成5)年に開館した「三の丸尚蔵館」を前身とする国立博物館です。2023(令和5)年に一部開館し、2026(令和8)年に全面開館となる新しい施設です。皇室ゆかりの品々を守るといふ責任とともに、関係機関と連携しつつ新たな事業を推進するやりがいのある職場です。

■千100-0001
東京都千代田区千代田1-8
■総務課総務係
☎ 03-6268-0306
■全教職員数(常勤)33名
(うち 事務職員12名、
技術職員1名)



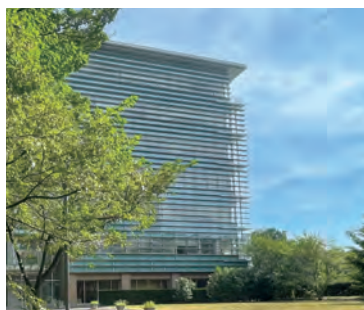
54

 独立行政法人
教職員支援機構
独立行政法人
教職員支援機構

全国の教職員の資質向上の総合的支援を行う中核拠点として

本機構は、全国の教職員の資質向上を目的とし、教職員に対する研修の実施・コンテンツ配信・プログラム開発、加えて、当該目的に関する調査研究や教員免許に関する事業を行っています。これらの事業を踏まえ、教職員の資質向上を図るための総合的支援を行う中核拠点として大学や教育委員会等の学校教育関係機関を結ぶネットワークづくりなどに取り組んでいます。次代を担う子供たちの教育とよりよい未来社会の形成のために一緒に働きましょう。

■千305-0802
茨城県つくば市立原3番地
■総務部総務企画課人事係
☎ 029-879-6611
■全教職員数(常勤)48名
(うち 事務職員47名)



55

 独立行政法人
大学改革支援・学位授与機構
独立行政法人
大学改革支援・学位授与機構

高等教育の質の向上を支援し、我が国の高等教育の発展に寄与する

当機構は、我が国の高等教育の発展に資するため、評価事業、施設費貸付・交付事業、学位授与事業、質保証連携、及びこれらの事業に関連する調査研究を実施しています。また、我が国社会の発展に寄与するため、デジタル・グリーン分野の人材育成支援に向けた助成事業も行っています。日本の高等教育の質の向上と発展の支援に興味のある方、ぜひ当機構で働いてみませんか。ご応募お待ちしております!

■千187-8587
東京都小平市学園西町1-29-1
■管理部総務課人事第1係
☎ 042-307-1514
■全教職員数(常勤)176名
(うち 事務職員157名)



56

 KOSSEN
国立高等専門学校機構
独立行政法人
国立高等専門学校機構本部事務局

情熱ある若者が未来を創造する実践的技術者に成長するまでサポート

高等専門学校は、実践的・創造的技術者を養成するため、中学卒業後から5年間の一貫教育を行う高等教育機関です。機構本部事務局は、全国51の国立高専の「舵取り役」「縁の下力持ち」として企画・管理業務を行い、約5万人の学生・約6千人の教職員を支える重要な役割を担う組織です。「高専・学生のために何ができるか」を考え行動できる方、ぜひ一緒に高専の未来を創っていきましょう。

■千193-0834
東京都八王子市東浅川町701-2
■人事課職員係
☎ 042-662-3158
■全教職員数(常勤)141名
(うち 事務職員91名、
技術職員17名)





57



独立行政法人国立高等専門学校機構 茨城工業高等専門学校

進化する創造力

世界で活躍し世界に貢献できるグローバル・エンジニアの育成を目指して

茨城高専では教育・研究の質保証、向上、そして、社会の変化に敏感に対応した教育改革、地域連携強化、グローバル化を教職員が一丸となって進めています。

本校には様々な課題や変化に柔軟に対応できる方、周囲と協調し責任感を持って意欲的に仕事に取り組んでいただける方の力が必要です。あなたの力を発揮し、一緒に茨城高専の未来を創っていきませんか。

■〒312-8508
茨城県ひたちなか市中根866
■総務課人事・労務係
☎ 029-271-2808
■全教職員数(常勤)109名
(うち 事務職員29名、
技術職員12名)



58



独立行政法人国立高等専門学校機構 小山工業高等専門学校

ひとをつくり、ものをつくり、社会とつなげよう

高専は、教育現場であり、地域社会における研究拠点でもあります。その中で関わる職員や教員、学生、企業の方々等様々な人と積極的にコミュニケーションを取りながら、一緒に魅力ある学校作りに携わってみませんか。

【求める人物像】

- 現状に満足せず、より良い姿に変えるため日々改善・改革を実行できる人
- 困難な状況においても、忍耐強く課題に取り組むことができる人

■〒323-0806
栃木県小山市大字中久喜771
■総務課総務係
☎ 0285-20-2116
■全教職員数(常勤)116名
(うち 事務職員33名、
技術職員11名)



59



独立行政法人国立高等専門学校機構 群馬工業高等専門学校

ものづくりの夢と希望を持った学生達のお手伝いを一緒にしませんか!

本校は、5学科(機械、電子メディア、電子情報、物質、環境都市)、2専攻科(生産システム、環境)を設け、視野の広い創造的な技術者を育成しています。

事務職員は総務課と学生課に、技術職員は教育研究支援センターに配置され、学校運営等に携わっています。ものづくりの夢と希望を持った学生達の夢の実現に向けて、活気あふれる学校を一緒に作りましょう。

■〒371-8530
群馬県前橋市鳥羽町580
■総務課人事係
☎ 027-254-9010
■全教職員数(常勤)111名
(うち 事務職員30名、
技術職員12名)



60



独立行政法人国立高等専門学校機構 木更津工業高等専門学校

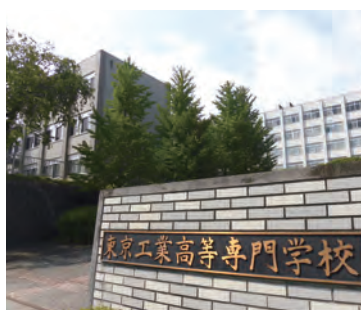
日本の未来を支える、若き力。 それを支えるのは、あなたです。

【求める人物像】

- 広い視野で、様々なことに積極的に取り組める方
- 学生に近いフレッシュな感覚を活かし、活気のある学校づくりに取り組んでくれる方
- 明るく、熱意をもって仕事に取り組める方

本校は、教職員の距離が非常に近く、風通しの良い職場です。さらに活気のある学校にするため、あなたの力を貸してください。是非、一緒に働きましょう!

■〒292-0041
千葉県木更津市清見台東2-11-1
■総務課人事・労務係
☎ 0438-30-4007
■全教職員数(常勤)118名
(うち 事務職員31名、
技術職員14名)



61



独立行政法人国立高等専門学校機構 東京工業高等専門学校

ユニークな教育機関で働いてみませんか?

高専は15歳から5年間一貫教育を行うユニークな高等教育機関で、卒業生の就職率はほぼ100%となっており、産業界から高い評価を受けています。大学とは異なり、一人ひとりの携わる仕事が幅広いため、早くから多くの知識や経験を身につけることができる職場です。駅徒歩5分の都市型高専から、エンジニアが羽ばたく瞬間を共有しませんか?主体的に考え実行できる方の応募をお待ちしています。

■〒193-0997
東京都八王子市桐田町1220-2
■総務課人事労務係
☎ 042-668-5115
■全教職員数(常勤)128名
(うち 事務職員34名、
技術職員14名)



62



独立行政法人国立高等専門学校機構 長岡工業高等専門学校

人類の未来をきりひらく、 感性ゆたかで実践力のある創造的技術者の育成

本校は、社会に求められ活躍できる人財を育成し続けています。研究、地域連携、国際交流等にも積極的に取り組んでおり、業務は学生の教育や課外活動支援のみならず多岐に渡ります。学生支援や社会貢献のため、社会のニーズを見極め常にアップデートしていくためには意欲的なあなたの力が必要です。本校は教職員に垣根がない働きやすい職場です。本校と一緒に未来を創っていきましょう!

■〒940-8532
新潟県長岡市西片貝町888番地
■総務課人事係
☎ 0258-34-9313
■全教職員数(常勤)114名
(うち 事務職員28名、
技術職員15名)





63



独立行政法人国立高等専門学校機構 長野工業高等専門学校

優れた技術者は、優れた人間でなければならない

本校は、実践的技術者の養成を目的に設立された国立高専の一つとして昭和38年(1963年)に開校しました。

職員の組織は事務部(総務課、学生課)及び技術支援部から構成され、本校が目指す教育理念の実現に向けて、学校運営に携わっています。

幅広い視点で考えて、責任感を持った仕事ができる環境です。そのような高専の仕事に対して、意欲的で向上心溢れた方をお待ちしております。

〒381-8550
長野県長野市大字徳間716
■総務課人事係
☎ 026-295-7004
■全教職員数(常勤)114名
(うち 事務職員31名、
技術職員14名)



64



特別な学校法人 放送大学学園

全ての人の開かれた、日本随一の生涯学習機関

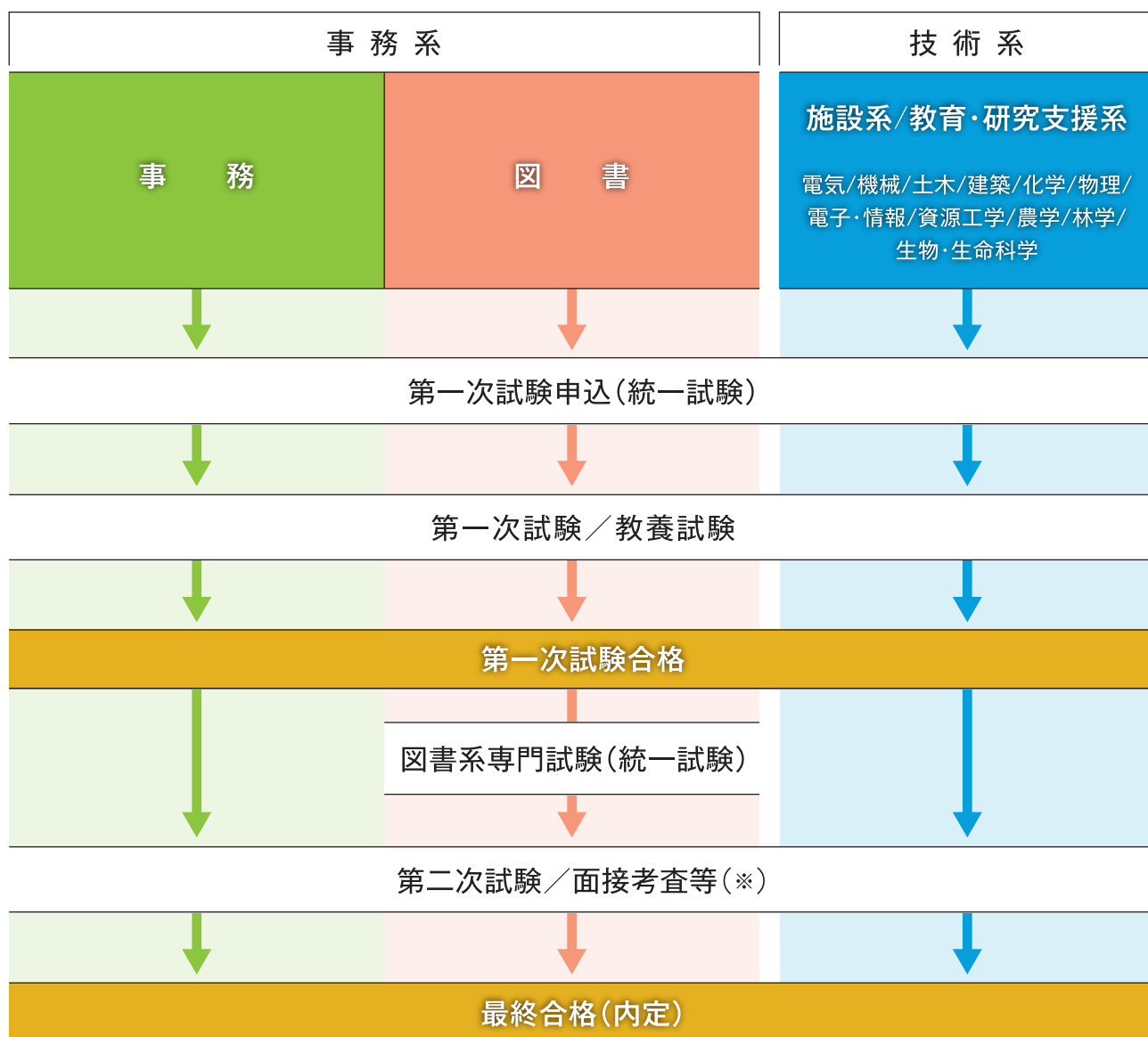
「放送大学学園法」に基づく特別な学校法人です。学園が設置する放送大学は、学びたい全ての人の開かれた生涯学習機関です。テレビ・ラジオ・インターネットを利用した遠隔授業、全国各地で行う面接授業等、場所や時間を問わない多様な教育方法により、学びの機会を提供しています。職員には、中長期的な視点に立って経営を担うことが求められ、やりがいのある仕事を任される機会が多くあります。

〒261-8586
千葉県千葉市美浜区若葉2-11
■総務部総務課人事係
☎ 043-298-4210
■全教職員数(常勤)326名
(うち 事務職員249名)



採用試験のプロセス

recruitment test process



※第二次試験は、機関ごとに実施するため、希望機関へ各自申込みが必要

勤務条件・福利厚生

working conditions & welfare

職員一人ひとりが安心して職務に専念できるよう、各機関は勤務環境の充実を図っています。

勤務条件（代表例）

勤務時間	原則として1日7時間45分（週38時間45分）となります。
休日	土曜日、日曜日、祝日、年末年始（12/29～1/3）となります。
主な休暇休業等	年次休暇：年間20日（初年は採用時期により異なります。4月採用は15日） 残日数は20日を限度として翌年に繰り越されます。 （付与日数と繰り越しを合わせて年間で最大40日） 特別休暇：夏季休暇、結婚休暇、産前産後休暇、ボランティア休暇、忌引き等 病気休暇：病気やけがの療養のため、必要と認められる期間 育児休業：子供が3歳になるまでの間、男女問わず利用できます。ほかに、部分休業や短時間勤務制度もあります。 介護休業：配偶者、父母、子等が介護を必要とする場合に利用できます。
給与・手当	基本給：学歴に応じて月額22万円～26万円程度（2025年10月1日現在・各種手当を除く）。 ※学校卒業後から採用までに職歴がある場合は、学歴や職歴を考慮して決定します。 手 当：地域手当、通勤手当、住居手当、扶養手当、時間外勤務手当、期末・勤勉手当（いわゆるボーナス。6月と12月の年2回）等 昇 給：原則年1回（1年間の勤務成績に応じて昇給します。）

福利厚生

健康保険年金等	文部科学省共済組合等に参加します。
健康管理	各機関では、健康診断の実施、人間ドックの助成を行っています。
宿 舎	単身者用・世帯用の住宅を設置している機関もあります。
レクリエーション	機関内・他機関との交流のため、スポーツ大会やサークル活動などが行われています。
施設の利用	各機関の所有する体育館、グラウンド、テニスコート等の各種施設や附属図書館を利用できます。

※法人化により、職員の身分は「非公務員型」の法人職員となりました。

※各機関ごと、就業規則等により異なります。

ジョブローテーション

job rotation

人材の育成を目的として、
約2～3年を目安に人事異動を行い、
各業務部門を幅広く経験します。

➡ P4,5 参照

研修制度

training system

自ら学ぶ意欲のある職員を支援する
環境を整備しています。

階層別
研修

目的別
研修

自己啓発
支援

➡ P23 参照

人事交流

personal exchange

幅広い視野を持った人材を育成するため
に、約1～3年の期間を定め、他機関での
勤務や、文部科学省等への研修派遣も行
っています。

※地方自治体や私立大学、民間企業等で勤務をする場合
があります。

➡ P23 参照



国立大学法人等職員 統一採用試験

【編集・発行】

関東甲信越地区

国立大学法人等職員採用試験事務室

〒113-8654 東京都文京区本郷7-3-1(東京大学本部内)

TEL 03-5841-2769, 2770

<https://ssj.adm.u-tokyo.ac.jp/>

イラスト：水谷慶大